

## 第 2 回

# 福井県嶺北地域公共交通活性化協議会資料

- ・ 嶺北地域の現状と課題、方向性の整理

序. 公共交通を取り巻く全国的な情勢	
1. 地域公共交通活性化及び再生に関する法律等の一部改正（令和2年）	P 4
I. 嶺北地域を取り巻く環境	
1. 人口	P 6
2. 施設分布（商業施設、高等教育機関、医療機関）	P 9
3. 移動特性（通勤・通学、日常生活、買い物、通院）	P 1 5
4. 交通事故	P 2 2
嶺北地域を取り巻く環境の要点整理	P 2 3
II. 嶺北地域の公共交通の現状	
1. 交通ネットワーク	P 2 5
2. 鉄道の状況（JR北陸本線・越美北線、えちぜん鉄道、福井鉄道）	P 2 8
3. 路線バスの状況	P 3 2
4. タクシー	P 3 6
5. 各市町のコミュニティバス等	P 3 7
6. 今後の公共交通の利用意向	P 3 8
7. 各市町の利用促進等の状況	P 3 9
8. 観光の状況	P 4 3
9. 北陸新幹線の開業効果	P 4 8
10. 二次交通のエンタメ化	P 5 0
嶺北地域の公共交通の現状の要点整理	P 5 2

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

序.公共交通を取り巻く全国的な情勢

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## 序. 公共交通を取り巻く全国的な情勢

### 1. 地域公共交通活性化及び再生に関する法律等の一部改正（令和2年）

Point

人口減少の本格化、運転者不足の深刻化等を背景に地方公共団体による「地域公共交通計画」の作成を努力義務化する法改正を実施  
従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源も計画に位置付け

#### 【地域公共交通計画の概要】

#### ○地方公共団体による「地域公共交通計画」(マスタープラン)の作成

公布: 令和2年6月3日  
施行: 令和2年11月27日

- ・地方公共団体による地域公共交通計画(マスタープラン)の作成を努力義務化  
⇒国が予算・ノウハウ面の支援を行うことで、地域における取組を更に促進（作成経費を補助 ※予算関連）
- ・従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等)も計画に位置付け  
⇒バス・タクシー等の公共交通機関をフル活用した上で、地域の移動ニーズにきめ細やかに対応（情報基盤の整備・活用やキャッシュレス化の推進にも配慮）
- ・定量的な目標(利用者数、収支等)の設定、毎年度の評価等  
⇒データに基づくPDCAを強化

#### 地域公共交通網形成計画(H26改正)

(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)  
まちづくりと連携した  
地域公共交通ネットワークの形成の促進

#### 地域公共交通計画(今回改正後)

(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)

まちづくりと連携した  
地域公共交通  
ネットワークの形成



地域における  
輸送資源の総動員

メニューの充実やPDCAの強化により、  
持続可能な旅客運送サービスの提供の確保

#### 地域旅客運送サービス

##### 公共交通機関

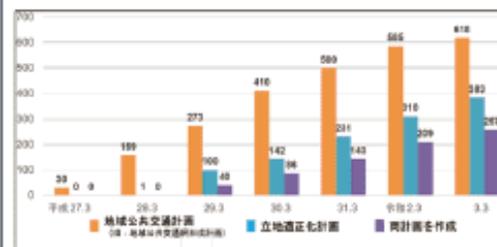


##### 自家用有償旅客運送



#### 地域公共交通計画の策定状況

(件)



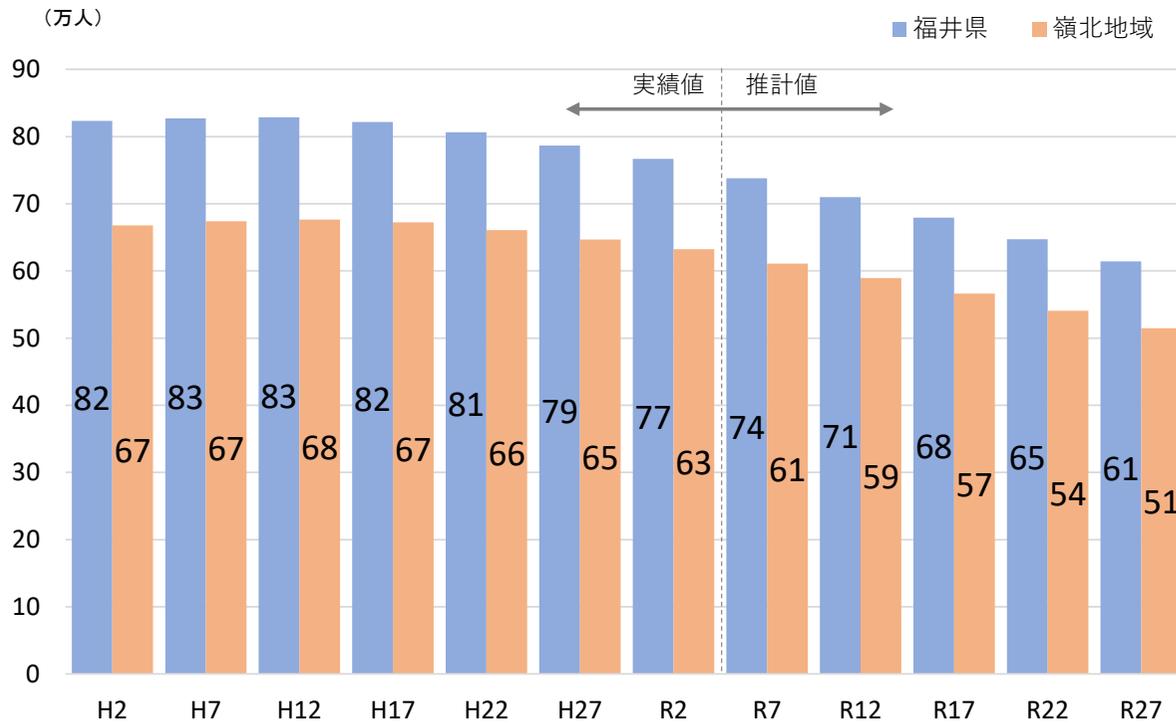
## I . 嶺北地域を取り巻く環境

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

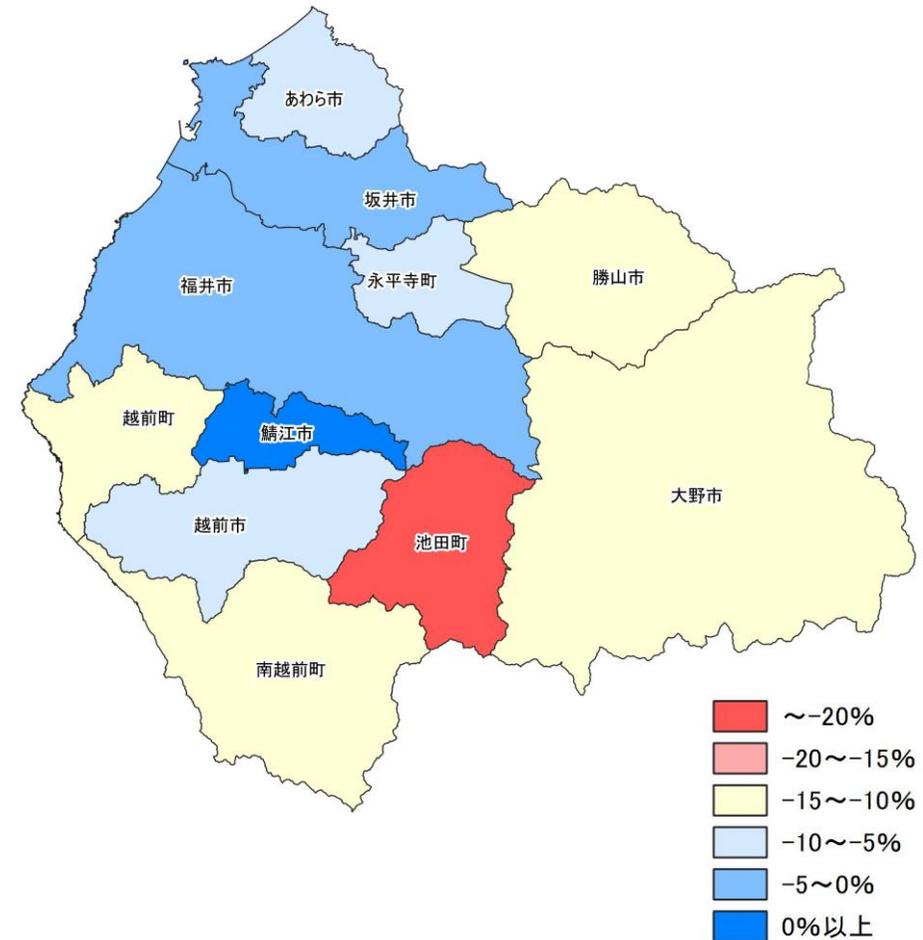
### 1.人口

令和2年時点における嶺北地域の人口は約63万人となっており、今後、全ての市町で人口減少が進行すると予測

【人口の推移】



【各市町における人口の増減率（H22→R2）】



出典：国勢調査

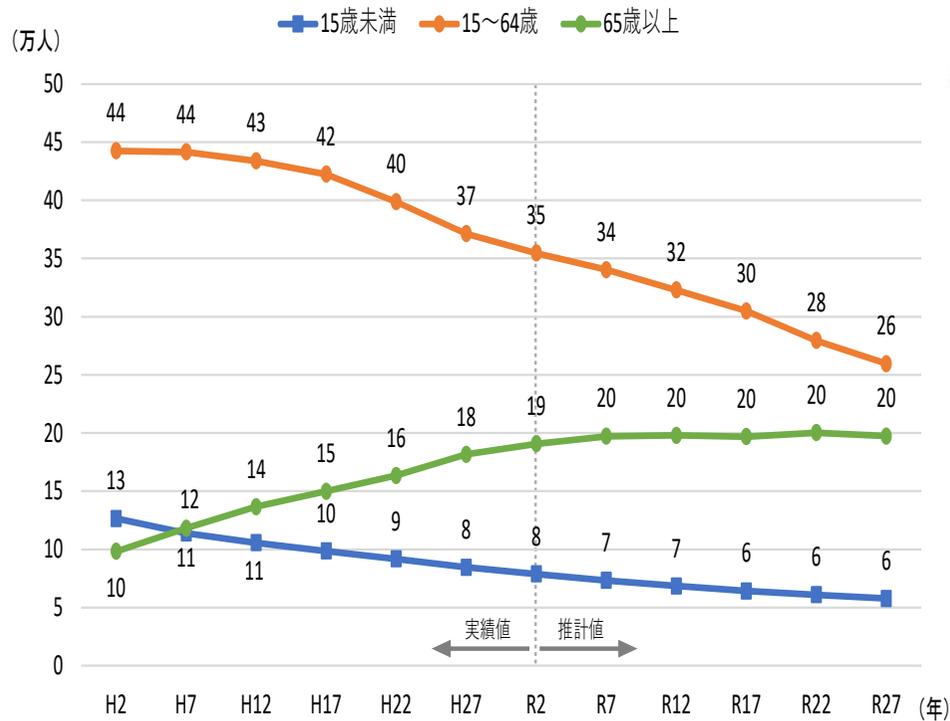
出典：国勢調査

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

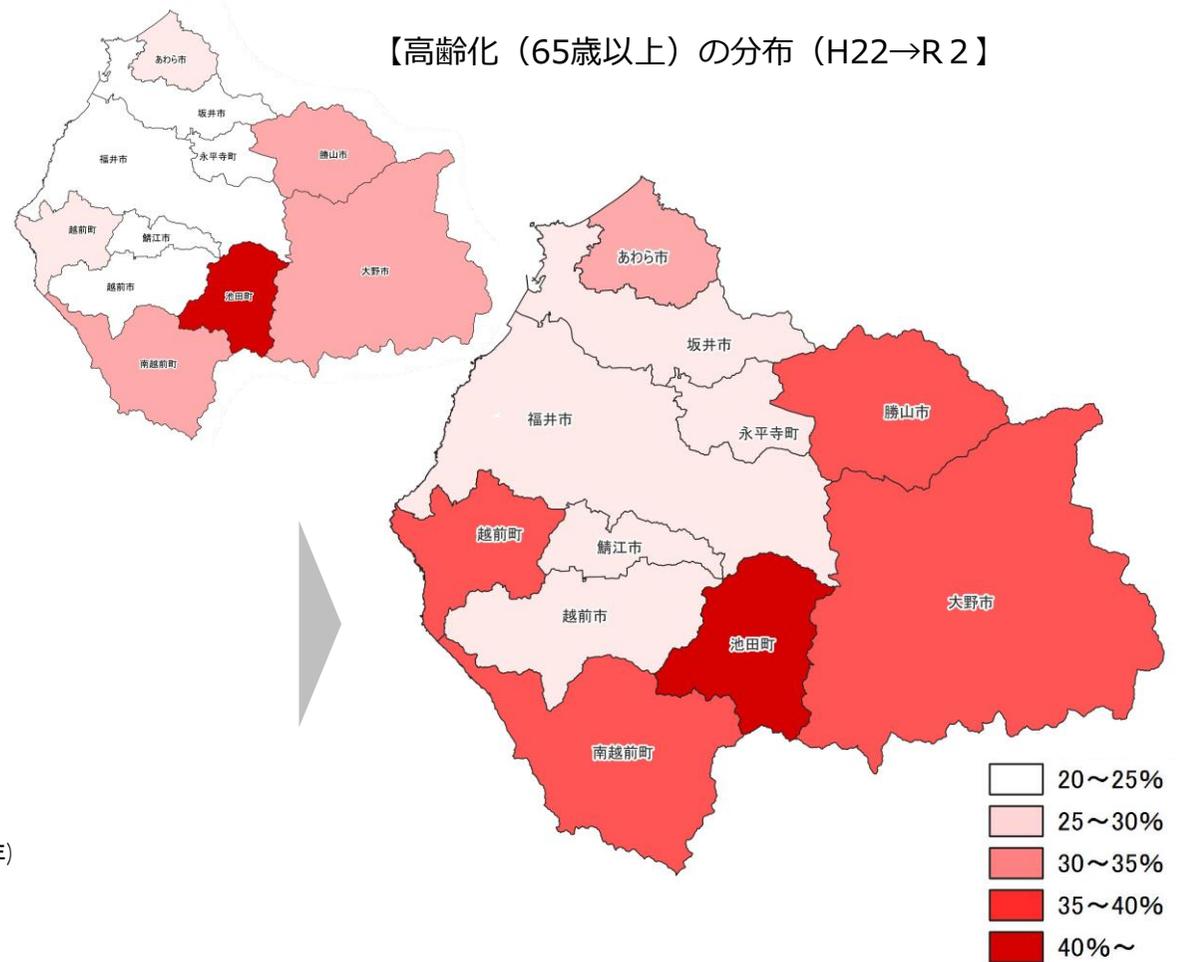
### 1.人口

15歳未満（年少人口）、15～64歳（生産年齢人口）が減少傾向、65歳以上（老年人口）が増加傾向と少子高齢化が進行

【年齢3区分別人口の推移】



【高齢化（65歳以上）の分布（H22→R2）】



出典：国勢調査

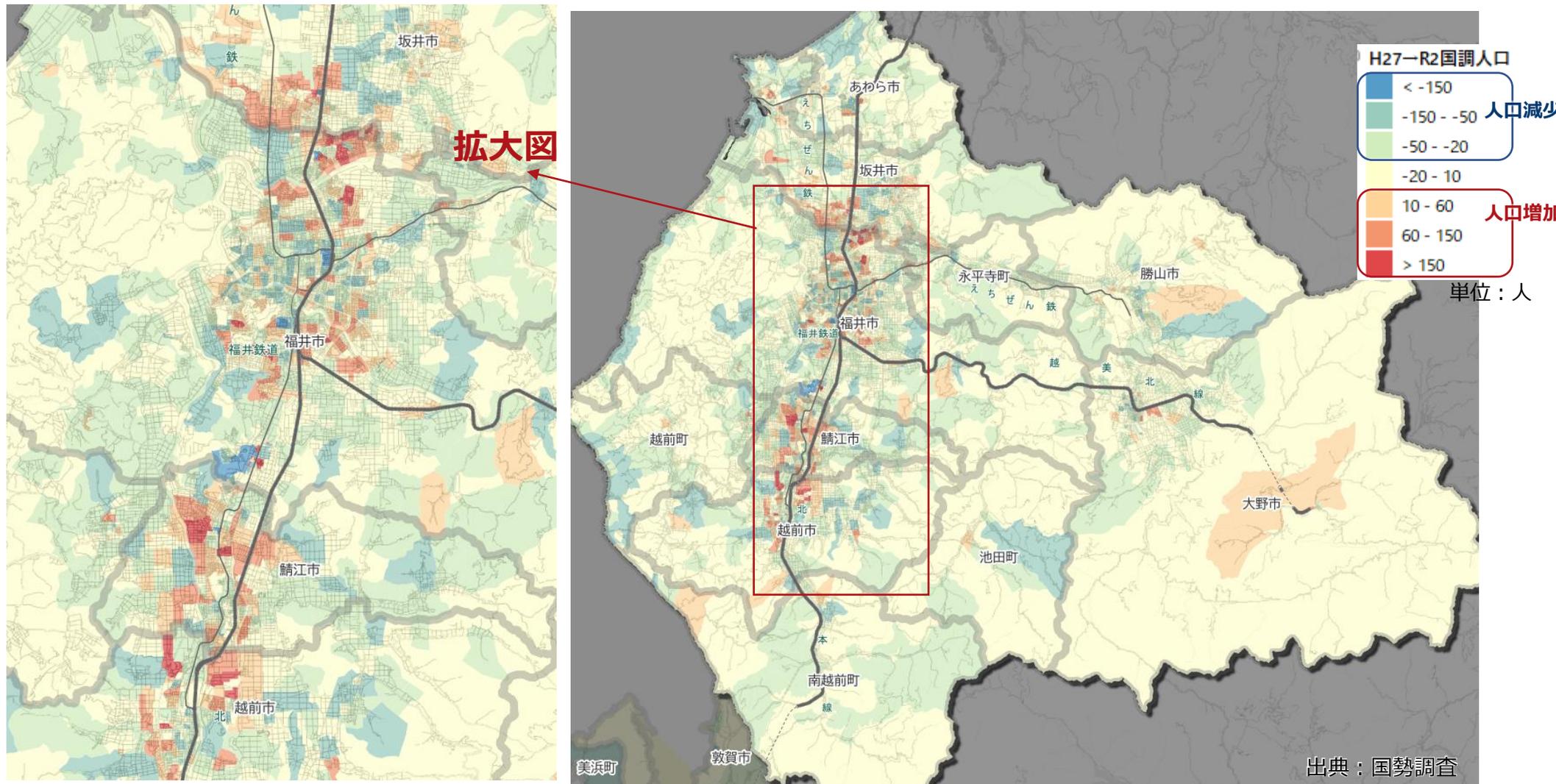
Point

I - ① 今後、全ての市町で人口は減少し、少子高齢化が進行。特に、通勤通学利用が見込める生産年齢人口（15-64歳）は大幅に減少

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 1.人口

鉄道沿線の人口は一部増加しているエリアもあるが、郊外は人口減少が顕著になっている



Point I - ②一部、鉄道沿線には人口が増加しているエリアも見られるが、郊外は人口減少が顕著であり、減便等による公共交通不便地域の拡大や顕在化が懸念される。

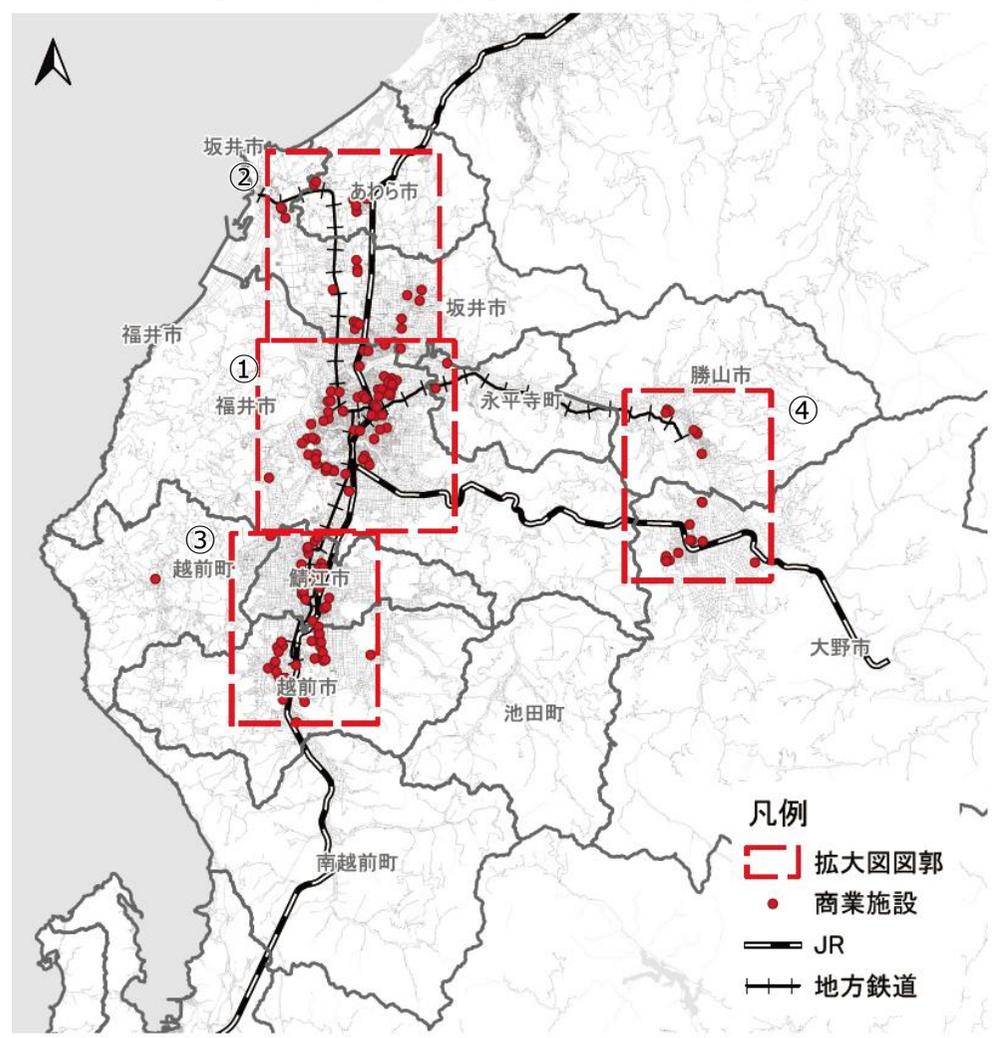
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

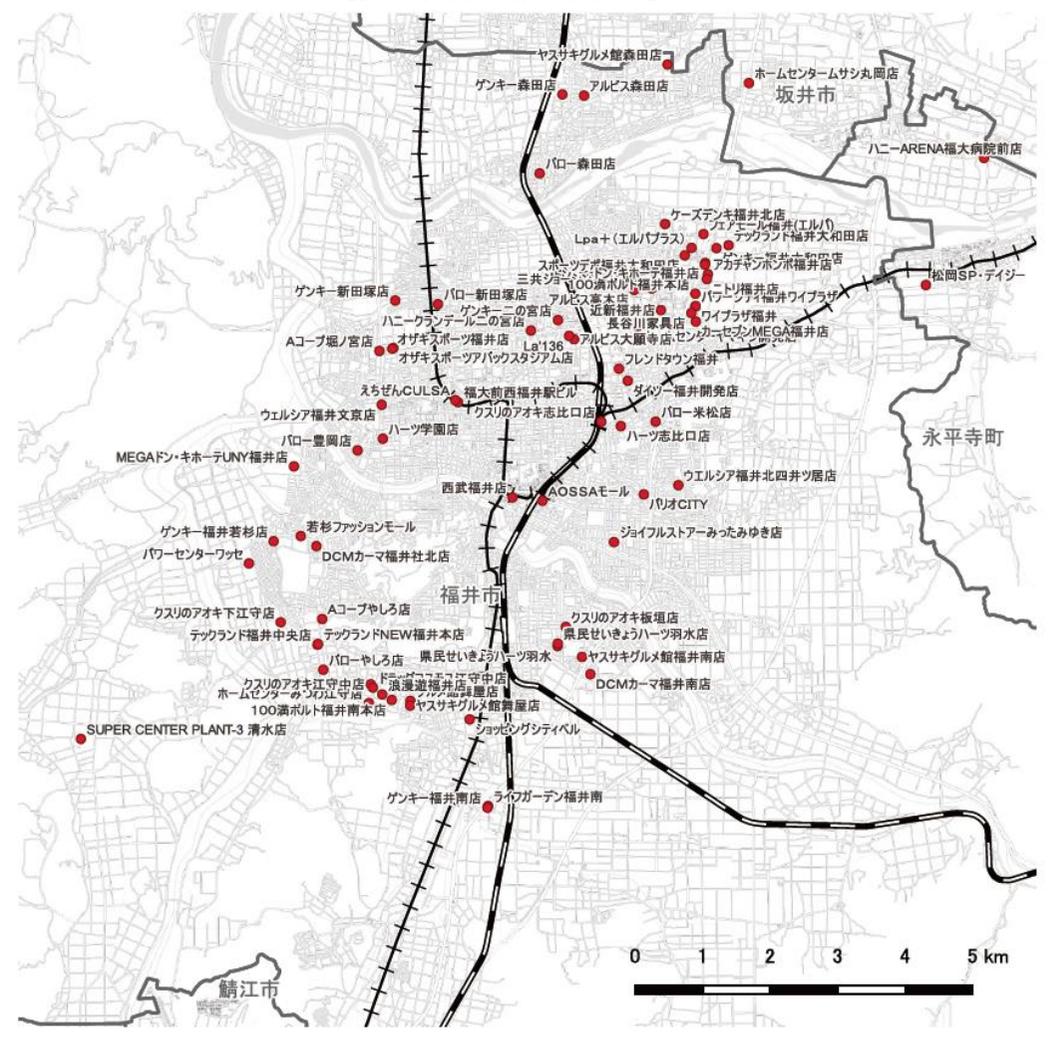
### 2. 施設分布①商業施設

福井市や越前市、鯖江市を中心に日常生活に必要な施設が各市町に立地しているが、駅直近のほか、幹線道路沿いや郊外などに多く立地。駅から徒歩で行けない場所に立地する店舗も多く、別の移動手段を要する。

【商業施設（大規模小売店舗）の分布状況】



【拡大図①（福井市）】



出典：大規模小売店舗立地法に基づく届出状況一覧（福井県資料）を基に作成

※店舗面積が1千㎡を超過する店舗が対象

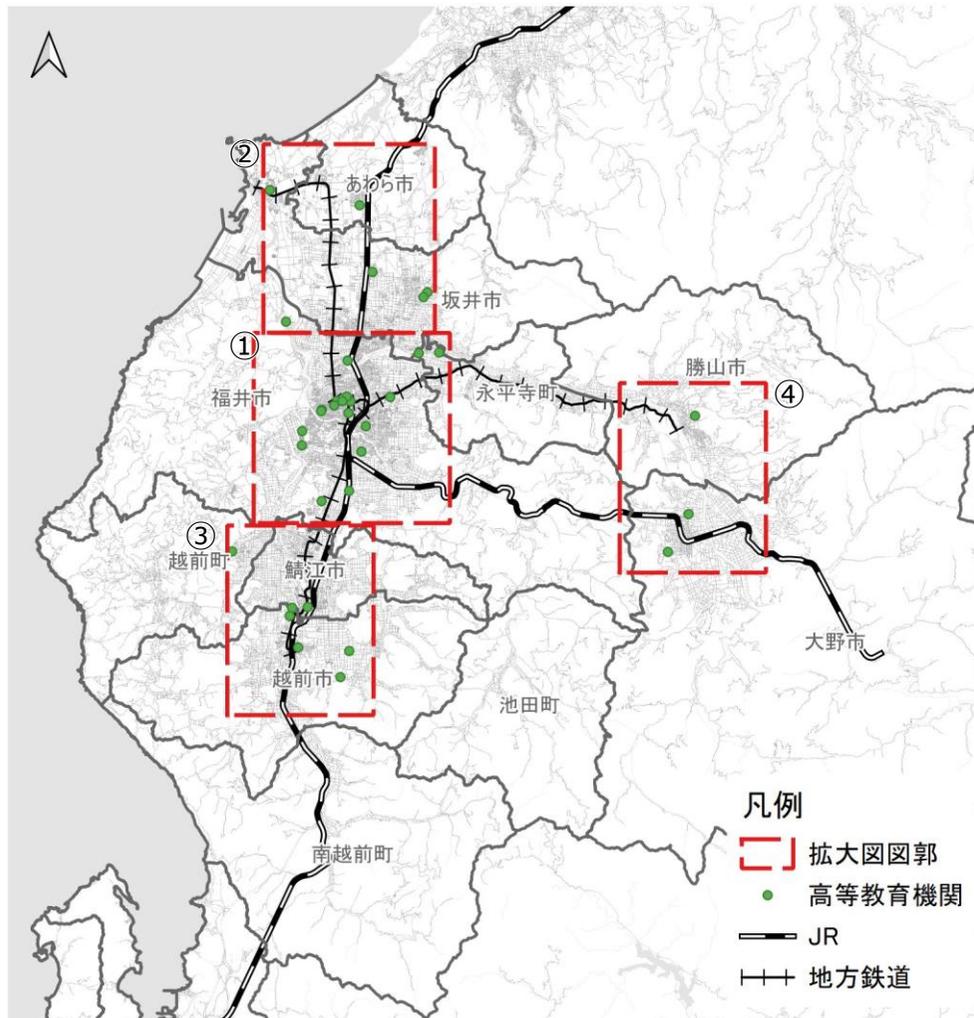


## I. 嶺北地域を取り巻く環境

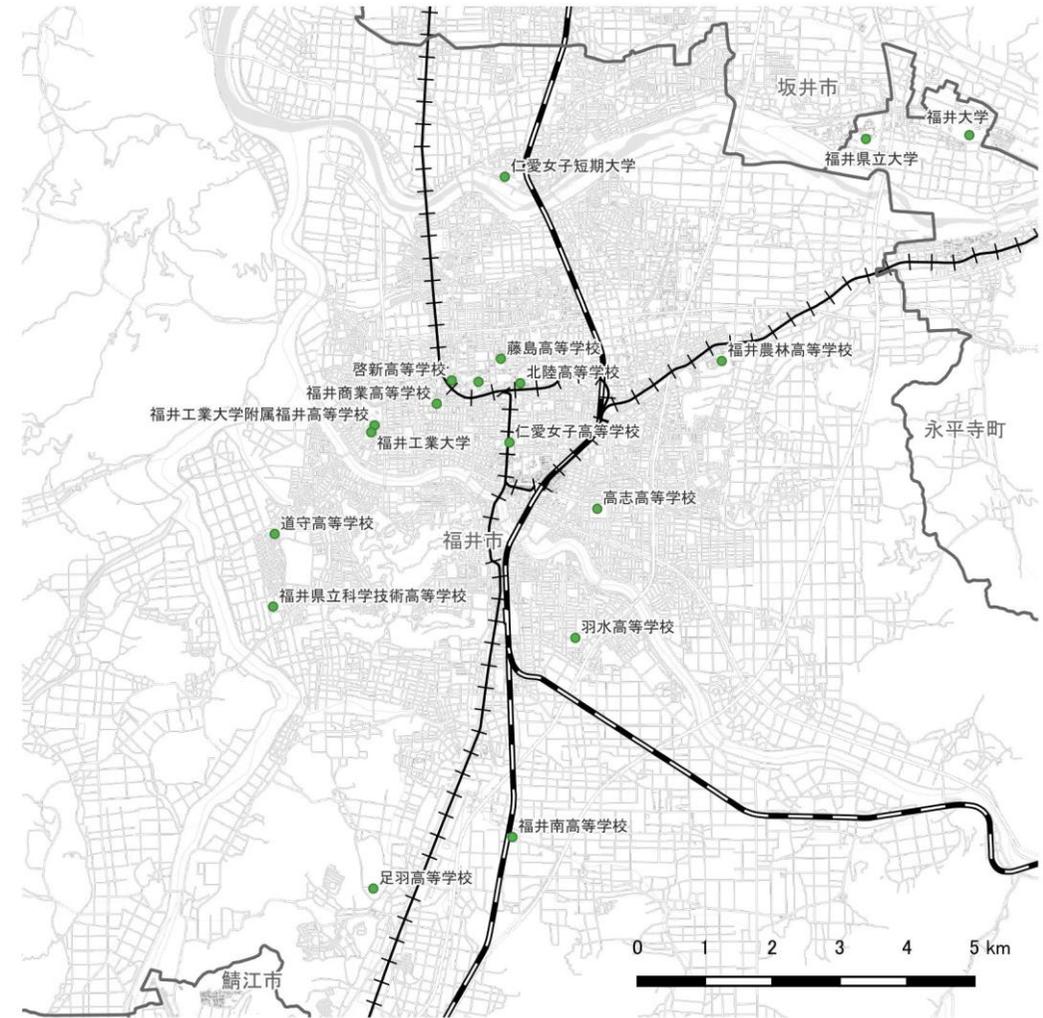
### 2. 施設分布② 高等教育機関

各市町の市街地及び鉄道沿線を中心に高等教育機関が立地している。

【高等教育機関の分布状況】



【拡大図①（福井市）】

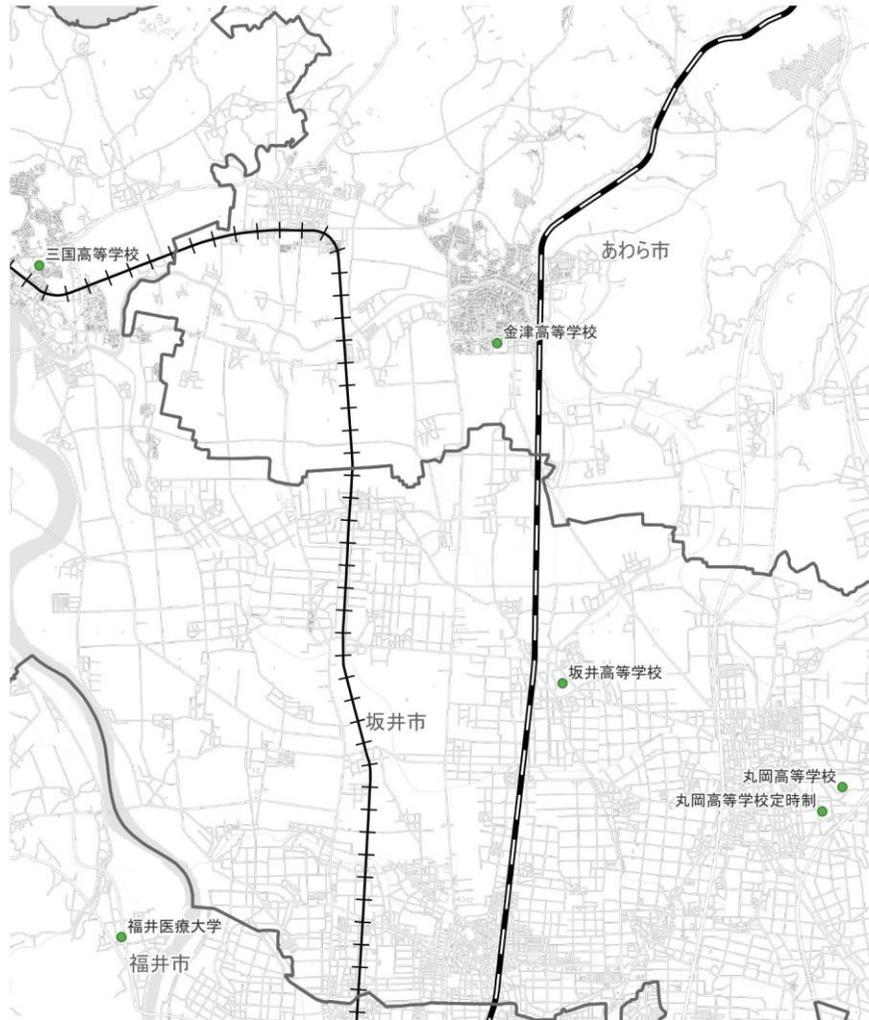


出典：国土数値情報（学校データR3）※高等学校、高等専門学校、短期大学、大学を抽出

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 2. 施設分布②高等教育機関

【拡大図②（坂井方面）】



【拡大図③（丹南方面）】



【拡大図④（奥越方面）】

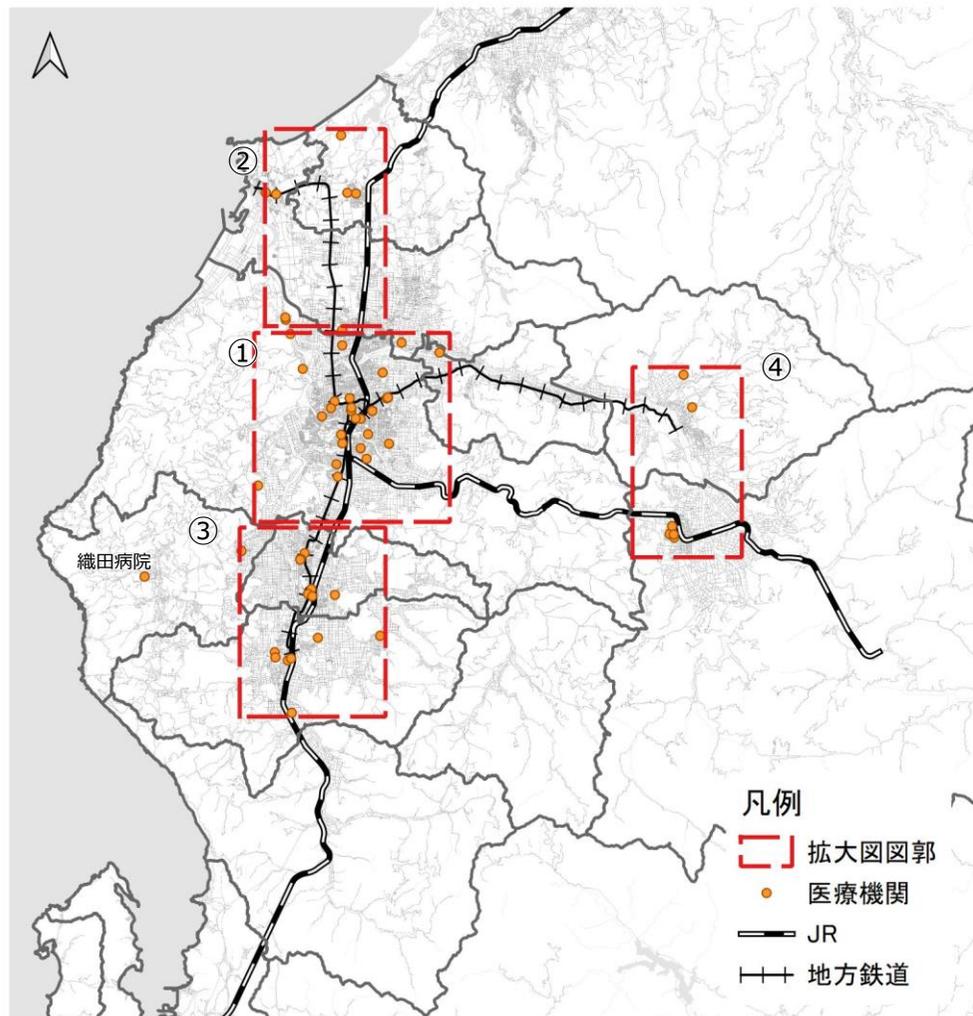


## I. 嶺北地域を取り巻く環境

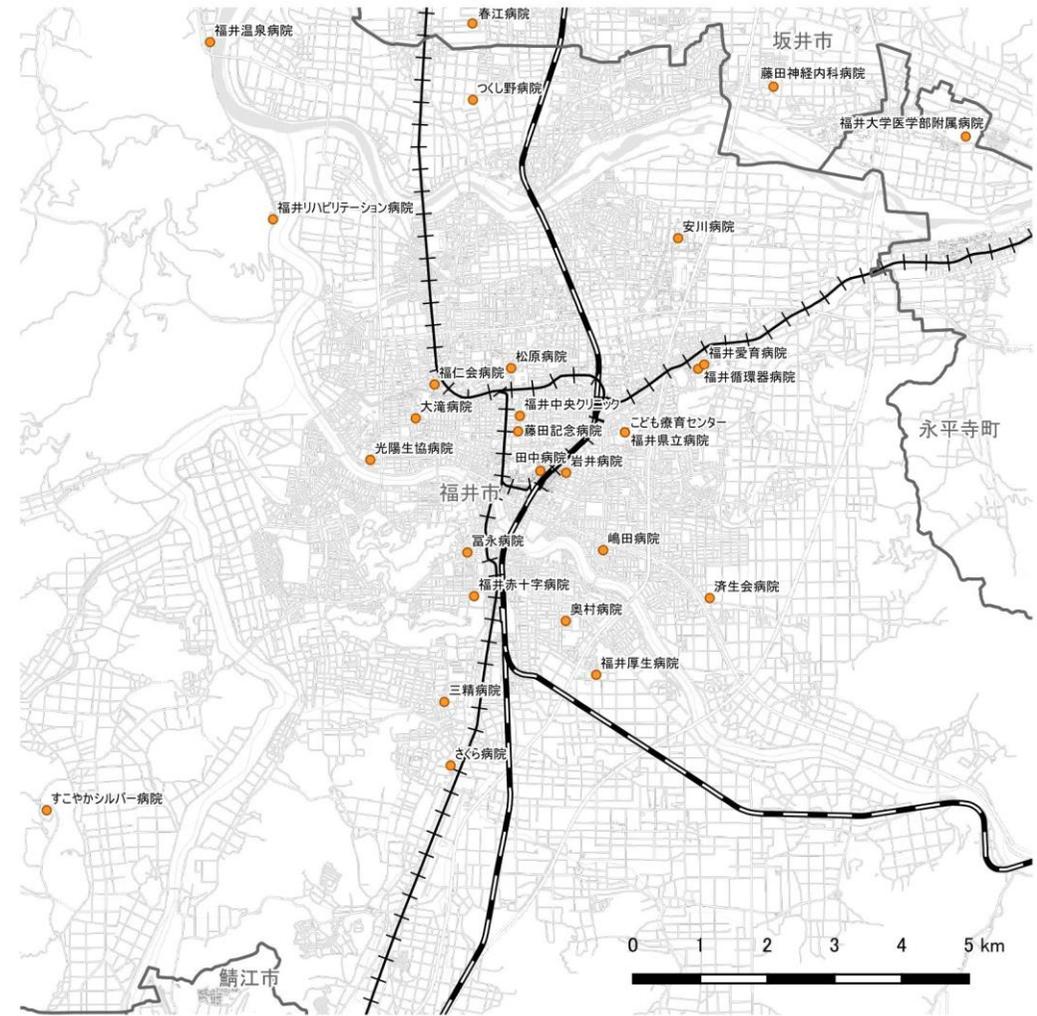
### 2. 施設分布③医療機関

医療機関も、各市町の市街地及び鉄道沿線を中心に立地している。

【医療機関の分布状況】



【拡大図①（福井市）】

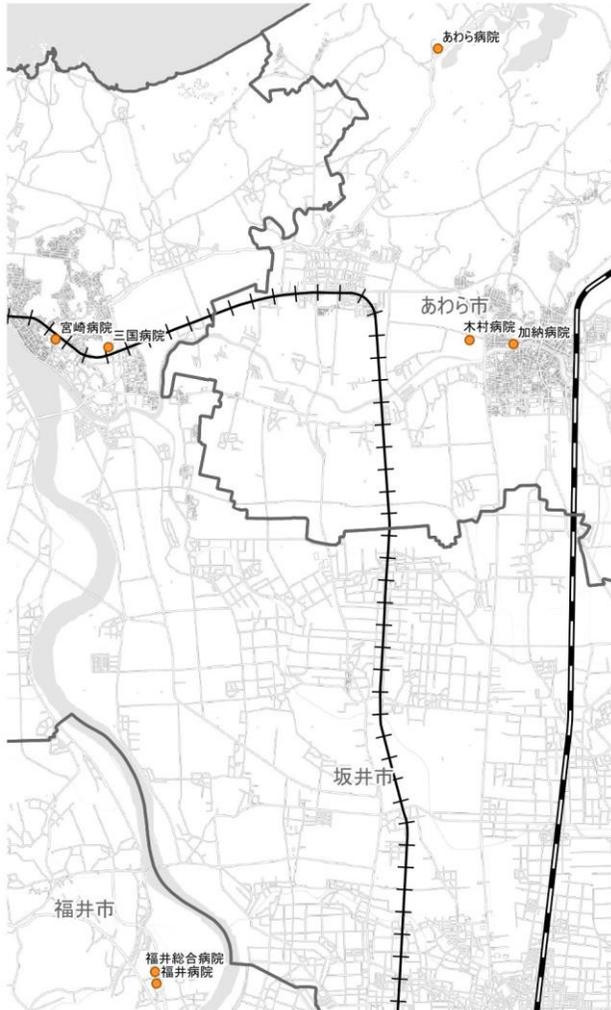


出典：国土数値情報（医療機関データR2）※病床を有する病院を抽出

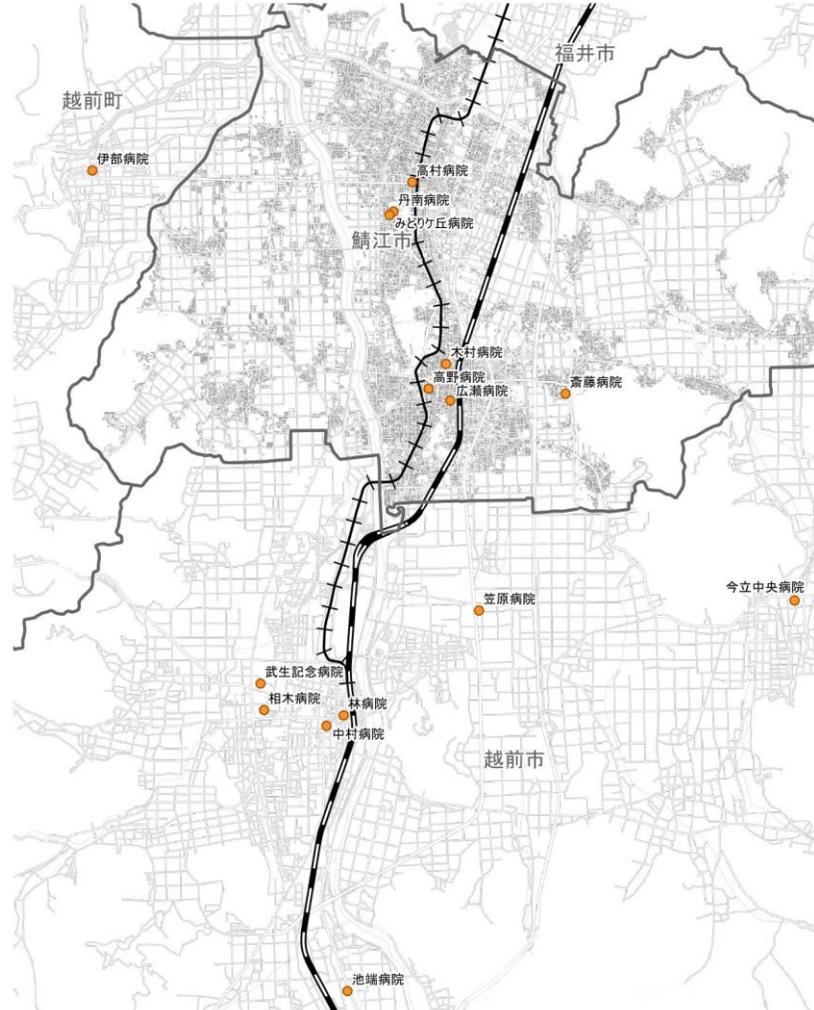
## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 2. 施設分布③医療機関

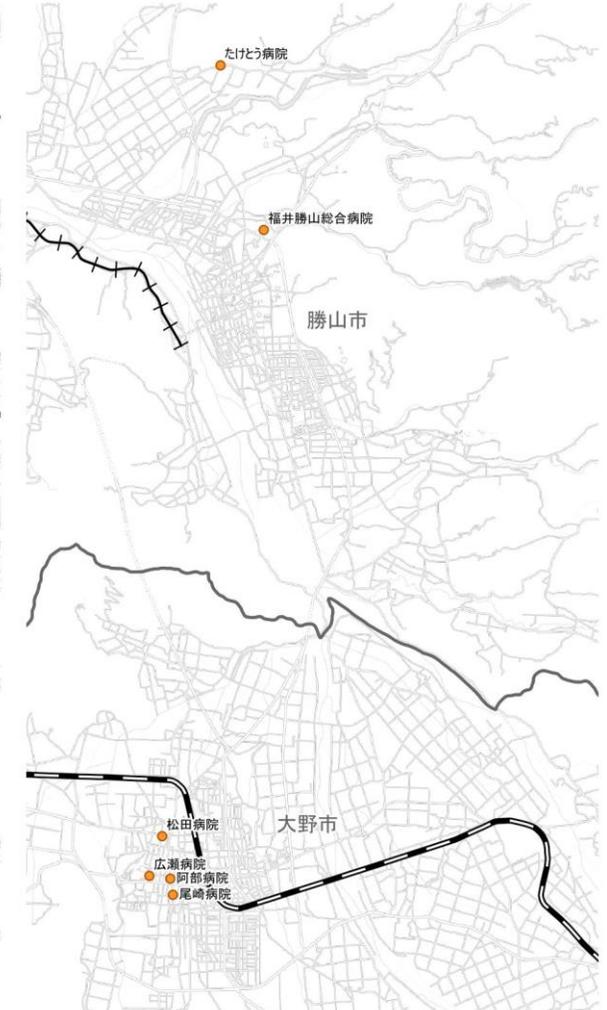
【拡大図②（坂井方面）】



【拡大図③（丹南方面）】



【拡大図④（奥越方面）】



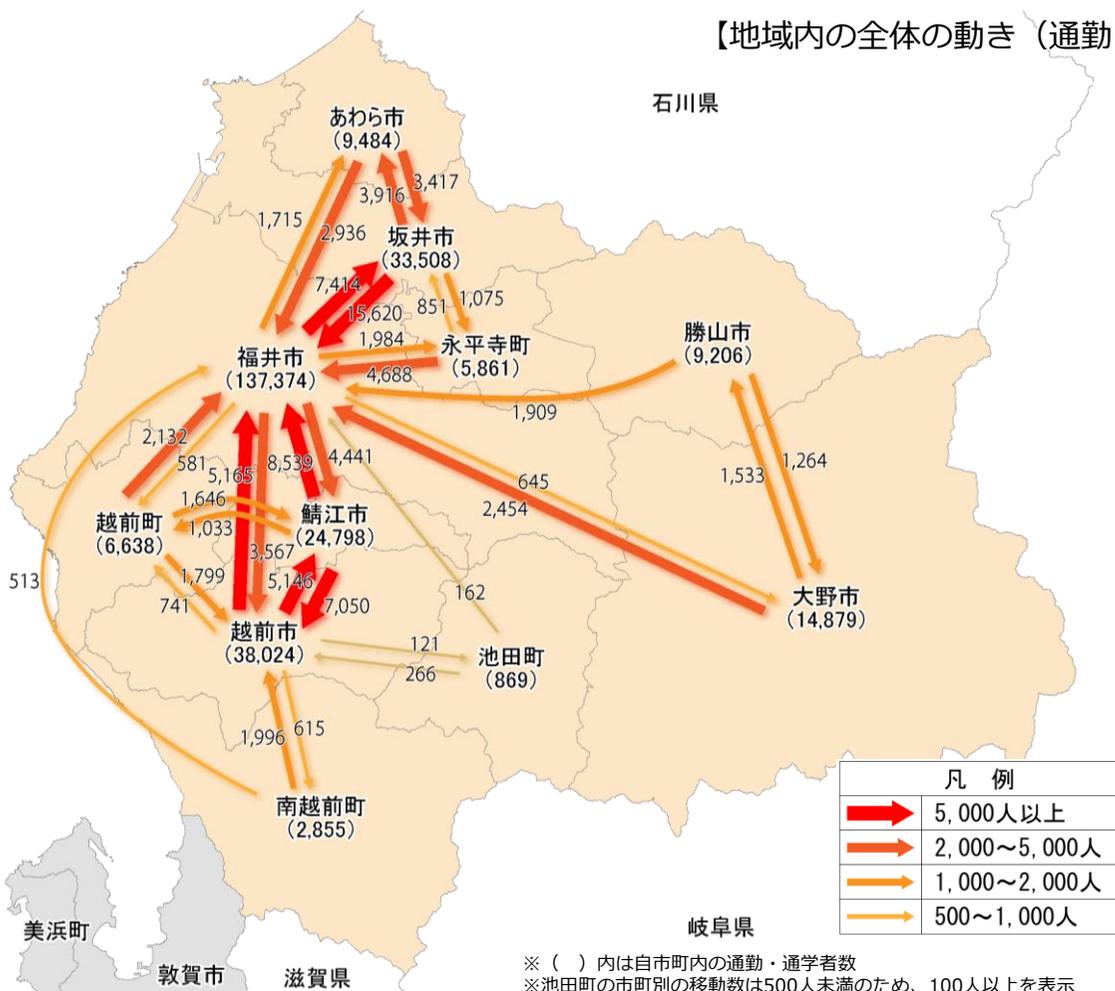
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

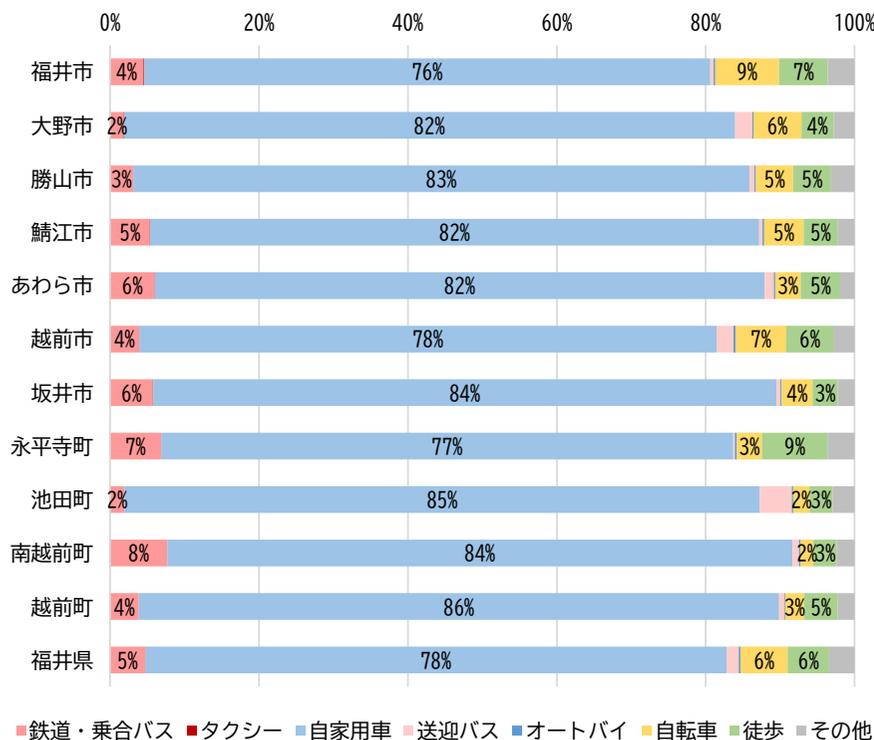
### 3. 移動特性（通勤・通学） ※国勢調査結果

通勤・通学時の移動は各市町内々の移動が多いが、市町間の移動では、福井市と越前市、坂井市、鯖江市に向かう動きが多い傾向（全ての市町で自家用車が75%以上を占め、公共交通は10%未満）

【地域内の全体の動き（通勤・通学）】



＜通勤・通学時の交通分担率＞



※福井県は、県内9市8町（計17市町）の数値

出典：令和2年国勢調査

Point

I - ③福井市を中心に市町をまたぐ通勤・通学流動が一定数見られる一方、大多数は自家用車による移動となっており、通勤通学時における公共交通の利用拡大が課題。

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

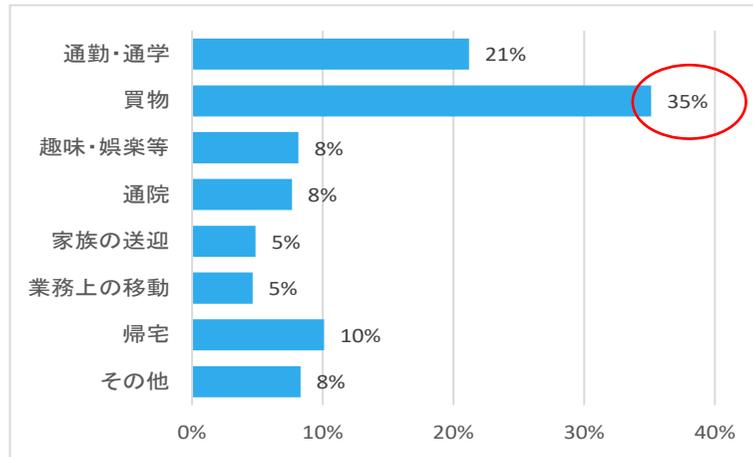
## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 3. 日常生活（平日）の移動特性

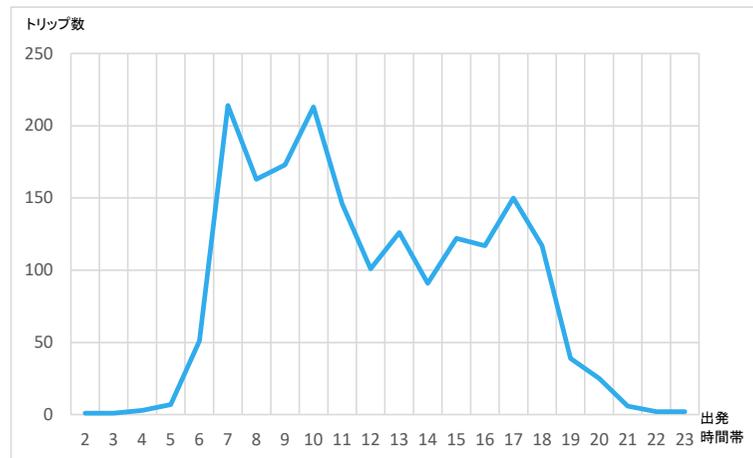
※住民アンケート調査結果

買い物、通勤通学を目的とした移動が多い。  
代表交通手段分担率は自動車が最も多く、嶺北全体の公共交通分担率は5%程度

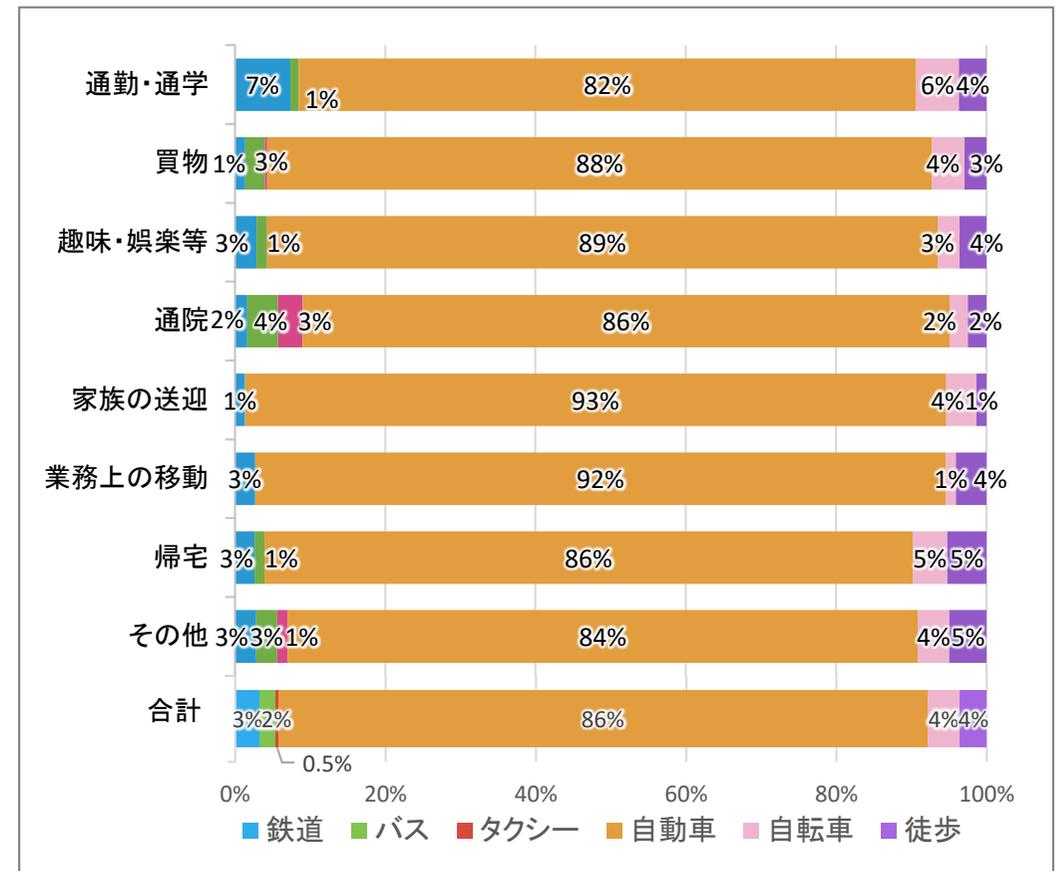
【移動目的】



【移動時間帯】



【代表交通手段分担率（目的別）】



※住民アンケート結果

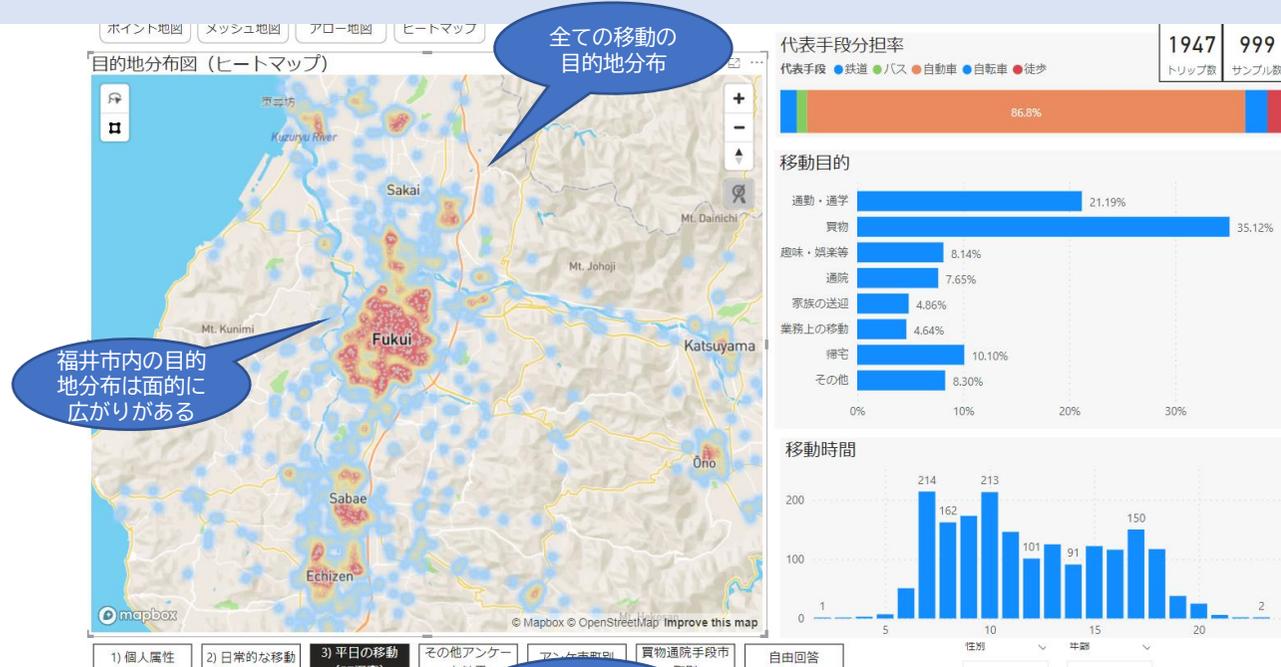
Point

I - ④ 日常生活に必要な施設が各市町の駅周辺や郊外部に多く立地し、主に自家用車や家族送迎による買い物や通勤通学を目的とした移動が多い。

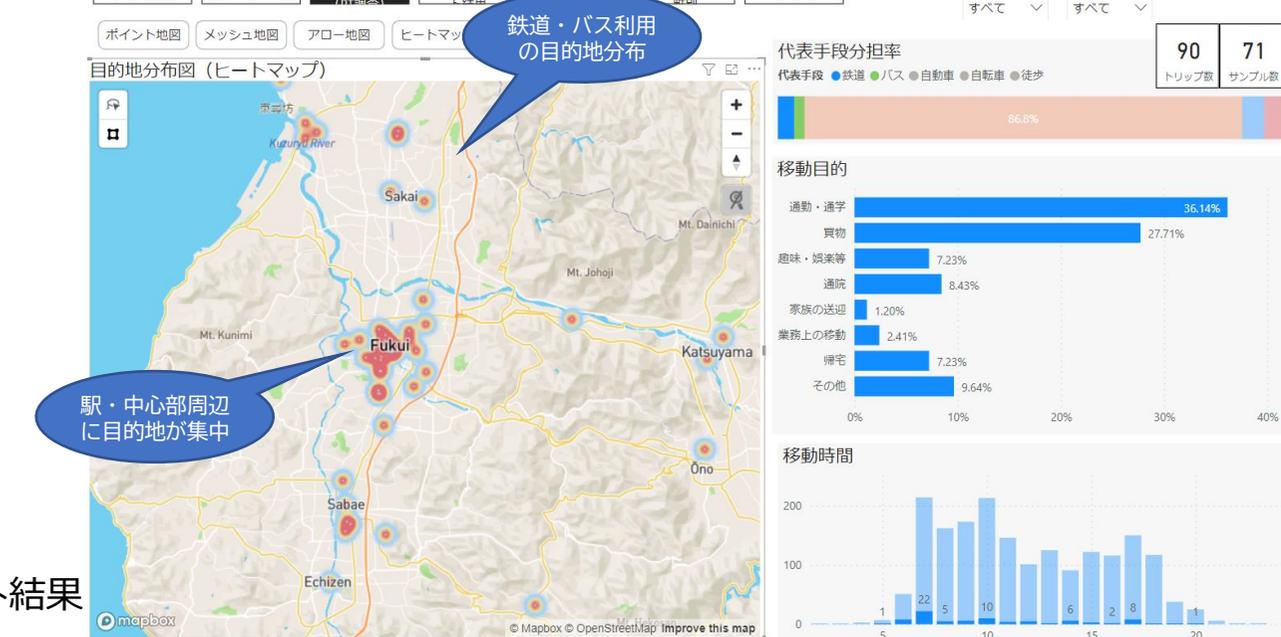
## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 3. 日常生活（平日）の移動特性

- 平日移動の87%は自動車利用であり、鉄道・バス利用は合計5%にとどまる。
- 移動の目的としては買物利用が最も多く、次いで通勤・通学と続いている。
- 目的地は、人口集中地区を中心に面的に広がっている。



- 鉄道・バスに限った移動に絞ると、目的地の分布は、各市の中心市街地を着地に持つ移動に限られる。



※住民アンケート結果



I - ⑤ 鉄道・バスに限った移動に絞ると、公共交通でのアクセス環境が整った各市中心市街地を着地に持つ移動に限られており、自家用車を保有しない人等が各種施設を利用できるよう、既存公共交通の維持や利便性向上が望まれる。

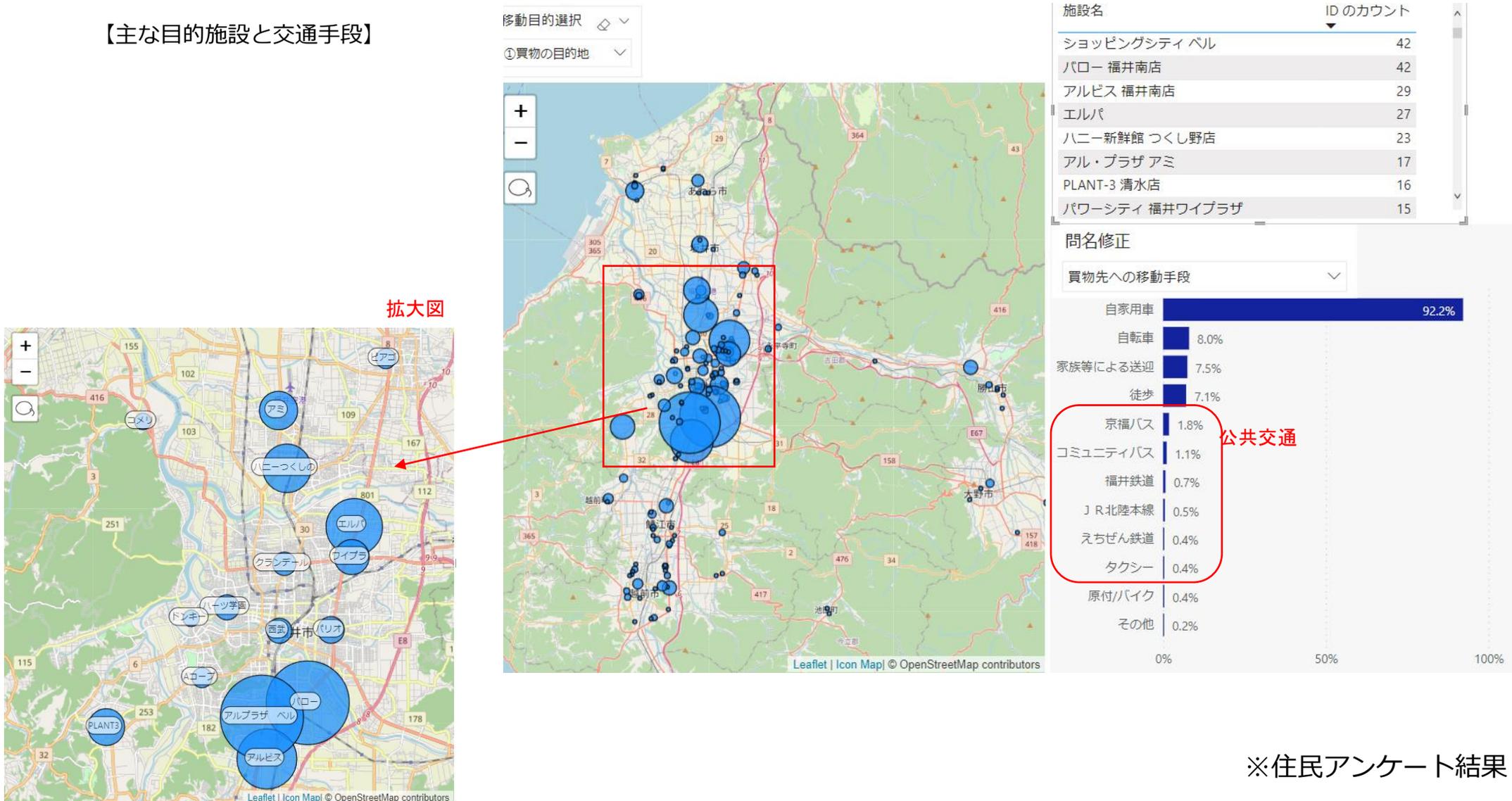
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 3. 買い物の移動特性

大型商業施設、ロードサイド型の商業施設の利用が多い  
 大多数が自家用車の利用であり、また家族等による送迎も見られる。公共交通の利用はごく僅か

【主な目的施設と交通手段】



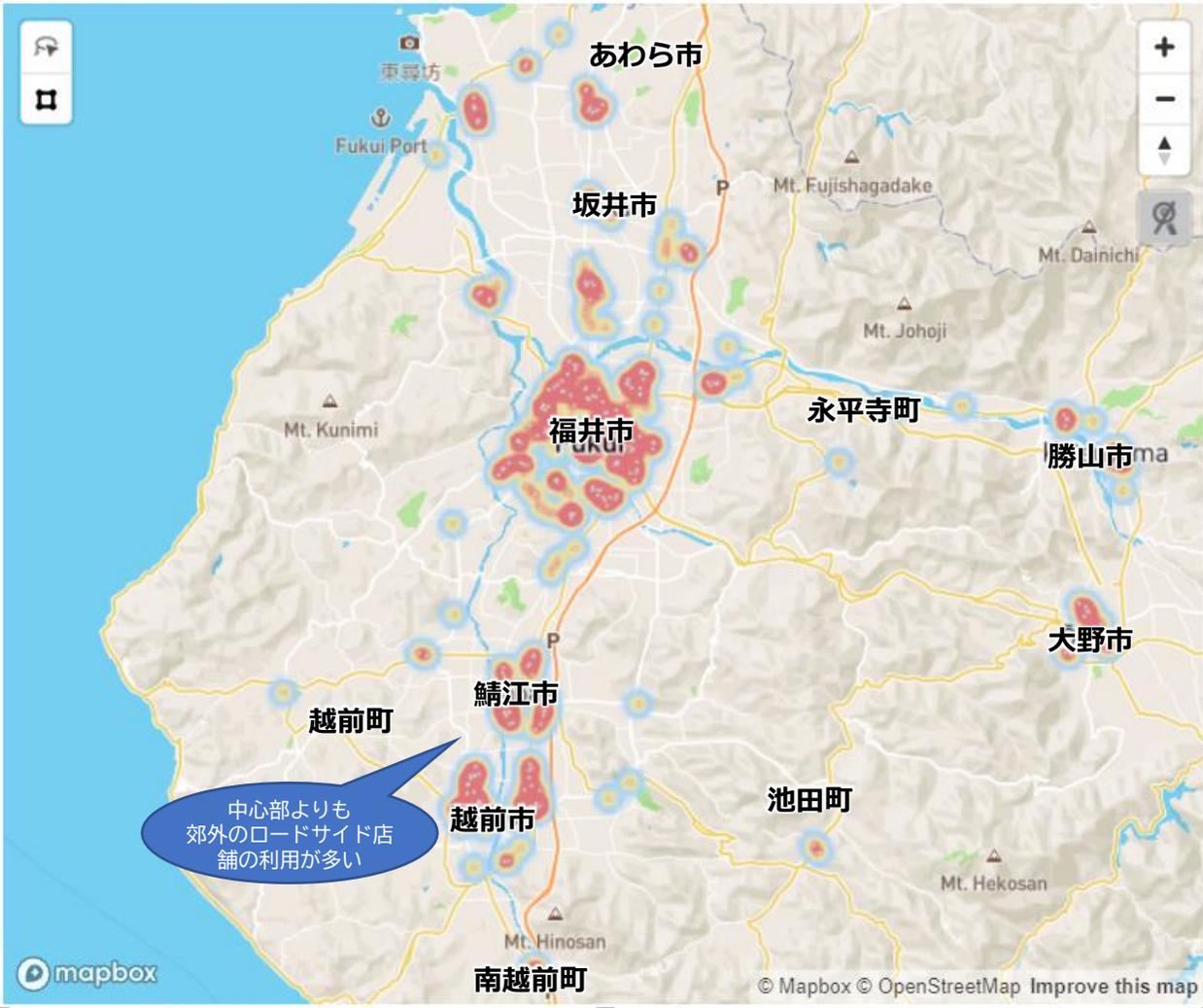
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 3. 買い物の移動特性

居住地別の目的地分布

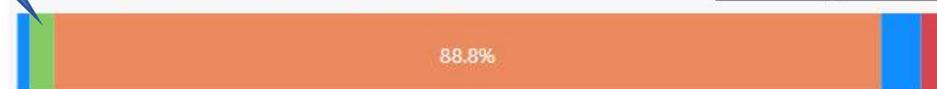
目的地分布図（ヒートマップ）



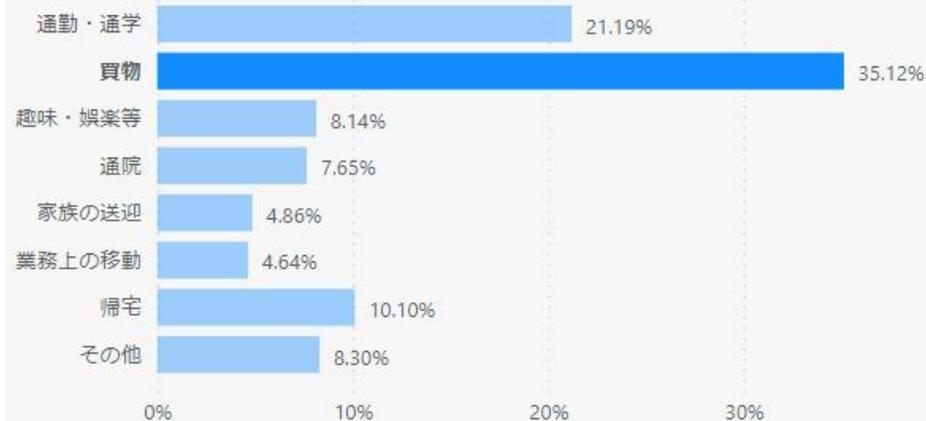
代表手段分担率

代表手段 ●鉄道 ●バス ●自動車 ●自転車 ●徒歩

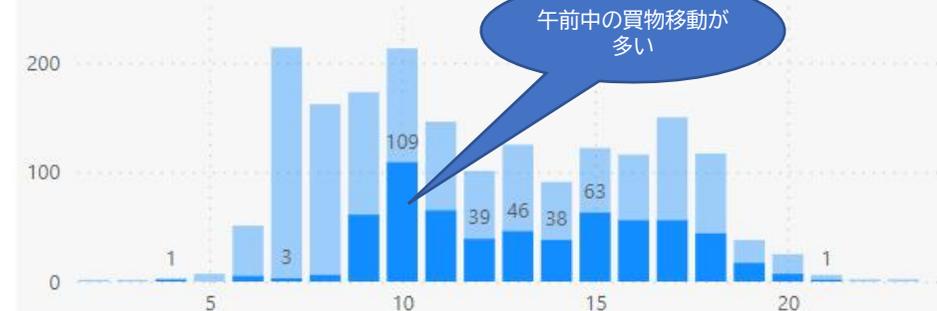
643	516
トリップ数	サンプル数



移動目的



移動時間



※住民アンケート結果

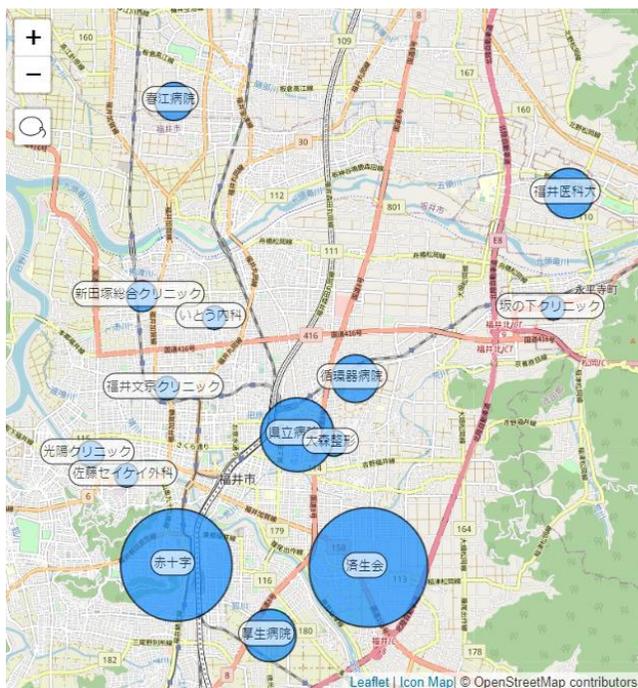
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 3. 通院の移動特性

地域の拠点病院、大病院への利用が多い  
 大多数が自家用車の利用であるが、タクシー、バスの利用も見られる

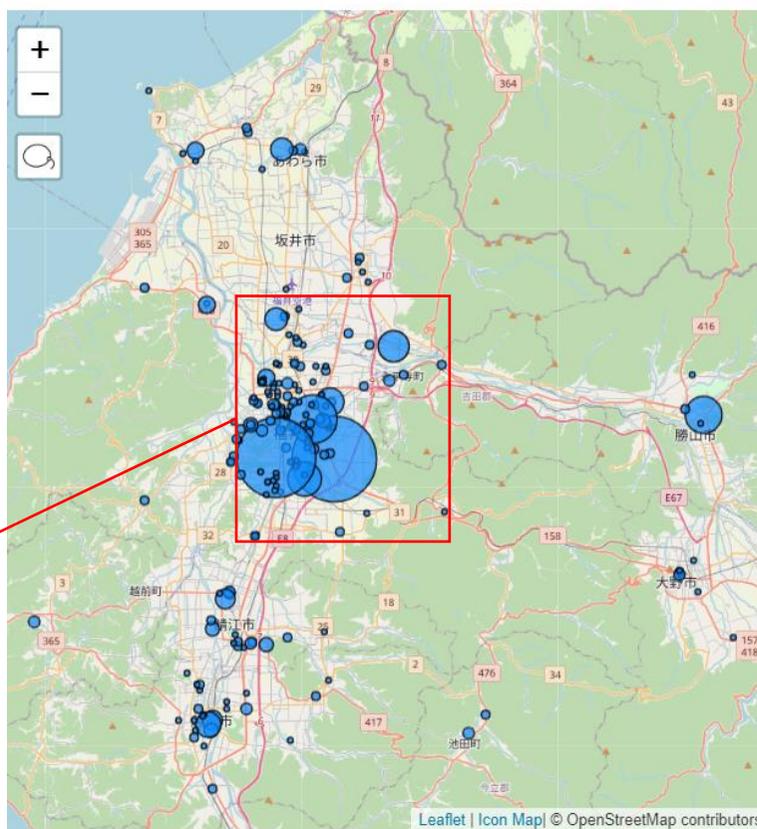
#### 【主な目的施設と交通手段】



拡大図

移動目的選択

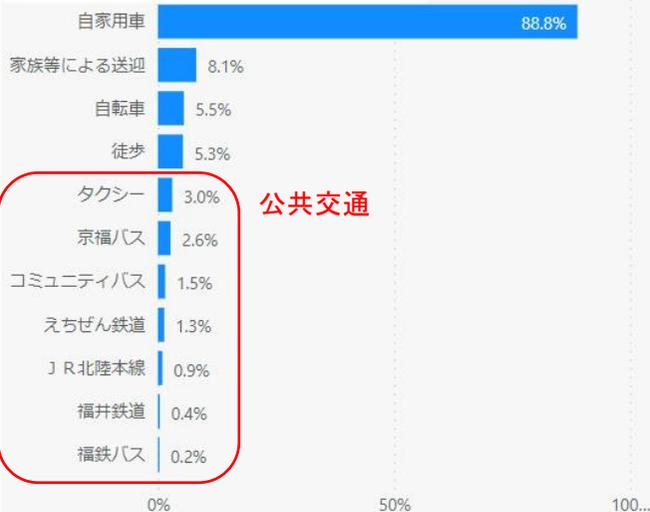
②通院の目的地



施設名 ID のカウント

施設名	ID のカウント
福井県済生会病院	41
福井赤十字病院	38
福井県立病院	23
JCHO福井勝山総合病院	17
福井厚生病院	15
福井大学医学部附属病院	14
(医)福井心臓血管センター 福井循環器病院	13
社会医療法人 財団 中村病院	11

問名修正



公共交通

※住民アンケート結果

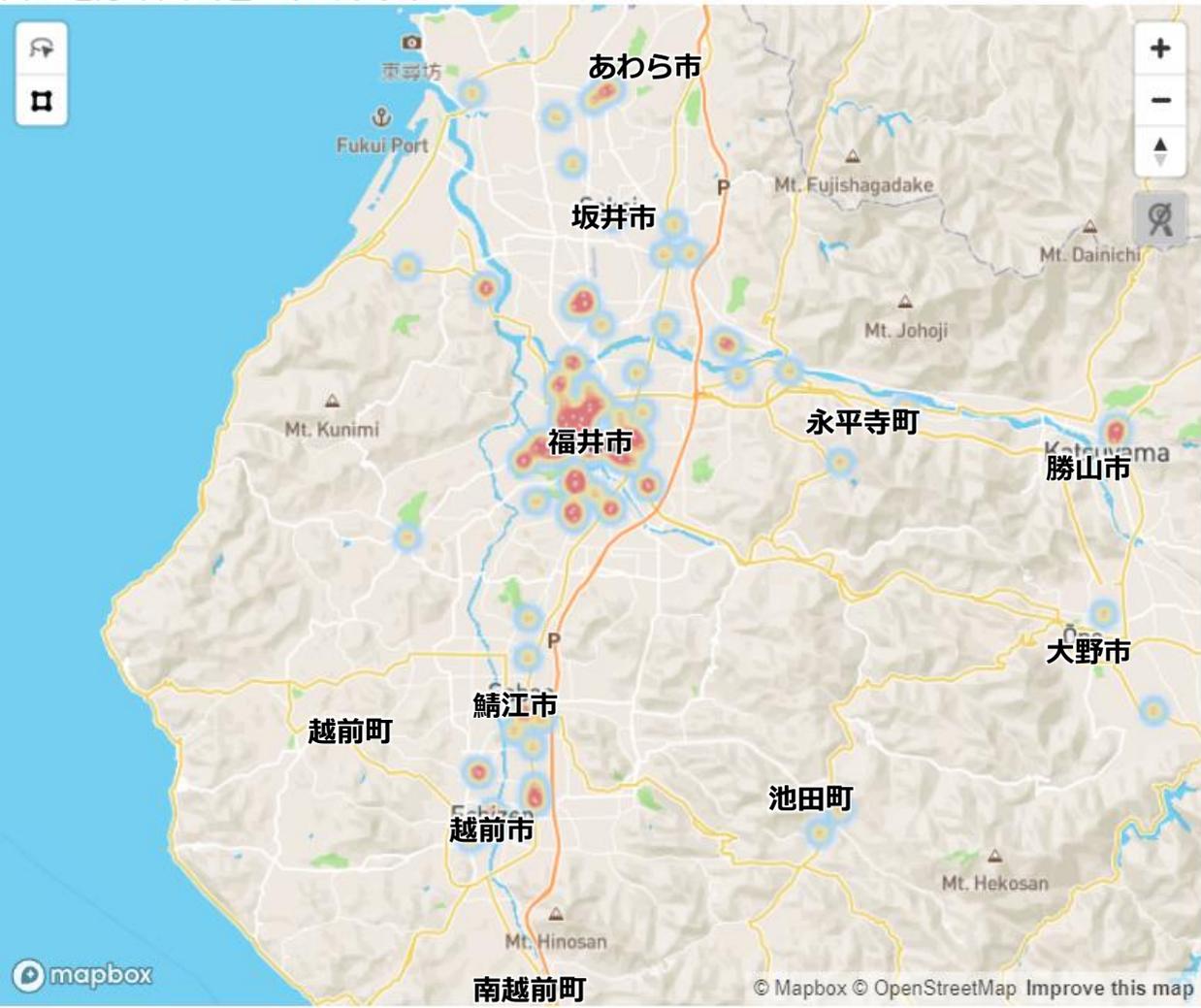
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 3. 通院の移動特性

居住地別の目的地分布

目的地分布図 (ヒートマップ)

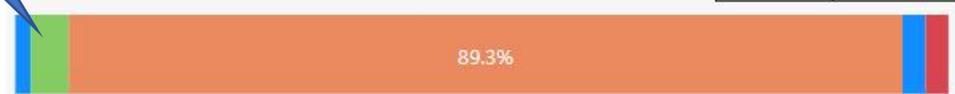


通院目的の  
鉄道・バス利用率は  
約6%

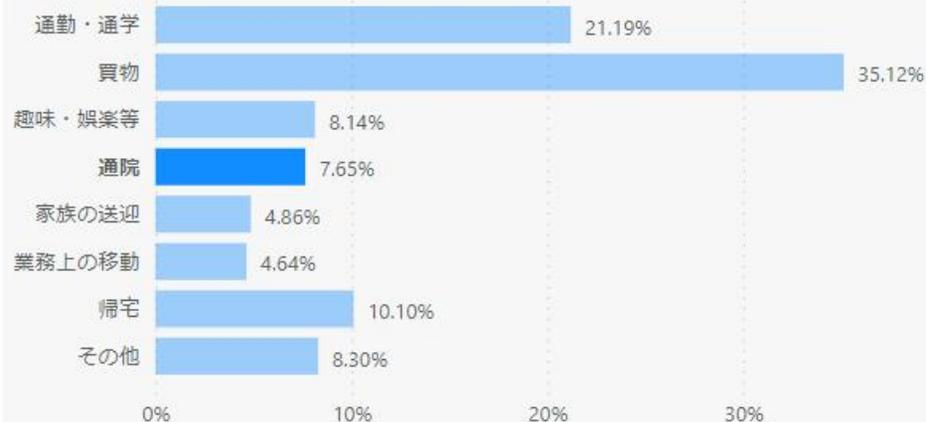
代表手段分担率

代表手段 ●鉄道 ●バス ●自動車 ●自転車 ●徒歩

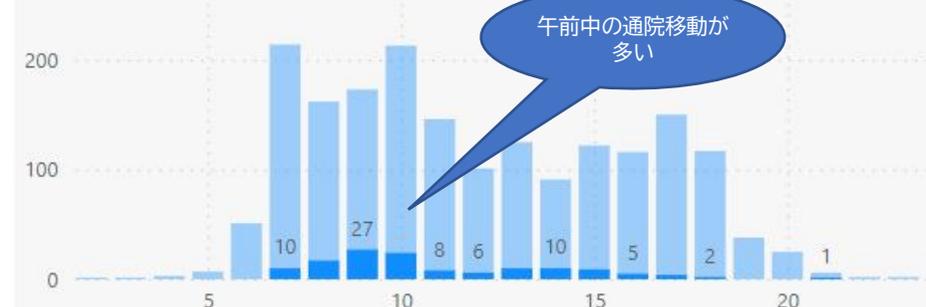
140	129
トリップ数	サンプル数



移動目的



移動時間



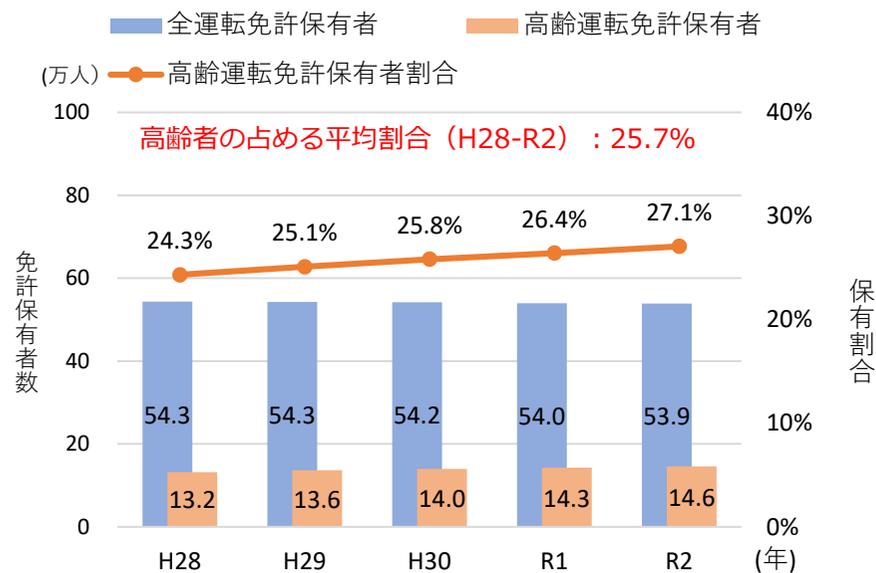
※住民アンケート結果

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### 4. 交通事故

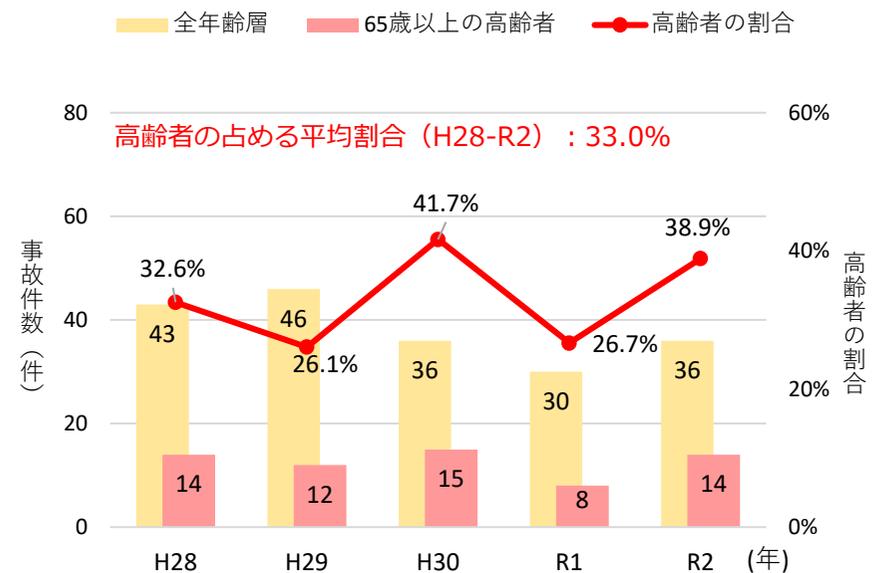
高齢運転者の免許保有割合は増加傾向にあり4人に1人以上が65歳以上の高齢ドライバー  
年によって変動はあるものの、65歳以上の高齢ドライバーに起因する死亡事故は平均で3割以上

【高齢者の運転免許者保有者割合の推移】



出典：運転免許統計

【運転手に起因する死亡事故に占める高齢者割合の推移】



出典：第11次福井県交通安全計画をもとに作成

Point

I - ⑥ 高齢運転者の免許保有率は増加傾向、事故件数は全年代の平均で3割以上を占めており、高齢化の進行に伴い、高齢ドライバーの事故増加が懸念される。

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## I. 嶺北地域を取り巻く環境

### ■ I. 嶺北地域を取り巻く環境 要点整理

#### 1. 人口

- I - ①概ね全ての市町で人口は減少し、少子高齢化が進行。特に、通勤通学利用が見込める生産年齢人口（15-64歳）は大幅に減少
- I - ②一部、鉄道沿線には人口が増加しているエリアも見られるが、郊外は人口減少が顕著であり、減便等による公共交通不便地域の拡大や顕在化が懸念される。
- I - ③福井市を中心に市町をまたぐ通勤・通学流動が一定数見られる一方、大多数は自家用車による移動となっており、通勤通学時における公共交通の利用拡大が課題。

#### 2. 施設分布 3. 移動特性

- I - ④日常生活に必要な施設が各市町の駅周辺や郊外部に多く立地し、主に自家用車や家族送迎による買い物や通勤通学を目的とした移動が多い。
- I - ⑤鉄道・バスに限った移動に絞ると、公共交通でのアクセス環境が整った各市中心市街地を着地に持つ移動に限られており、自家用車を保有しない人等が各種施設を利用できるよう、既存公共交通の維持や利便性向上が望まれる。

#### 4. 交通事故

- I - ⑥高齢運転者の免許保有率は増加傾向、事故件数は全年代の平均で約3割を占めており、高齢化の進行に伴い、高齢ドライバーの事故増加が懸念される。

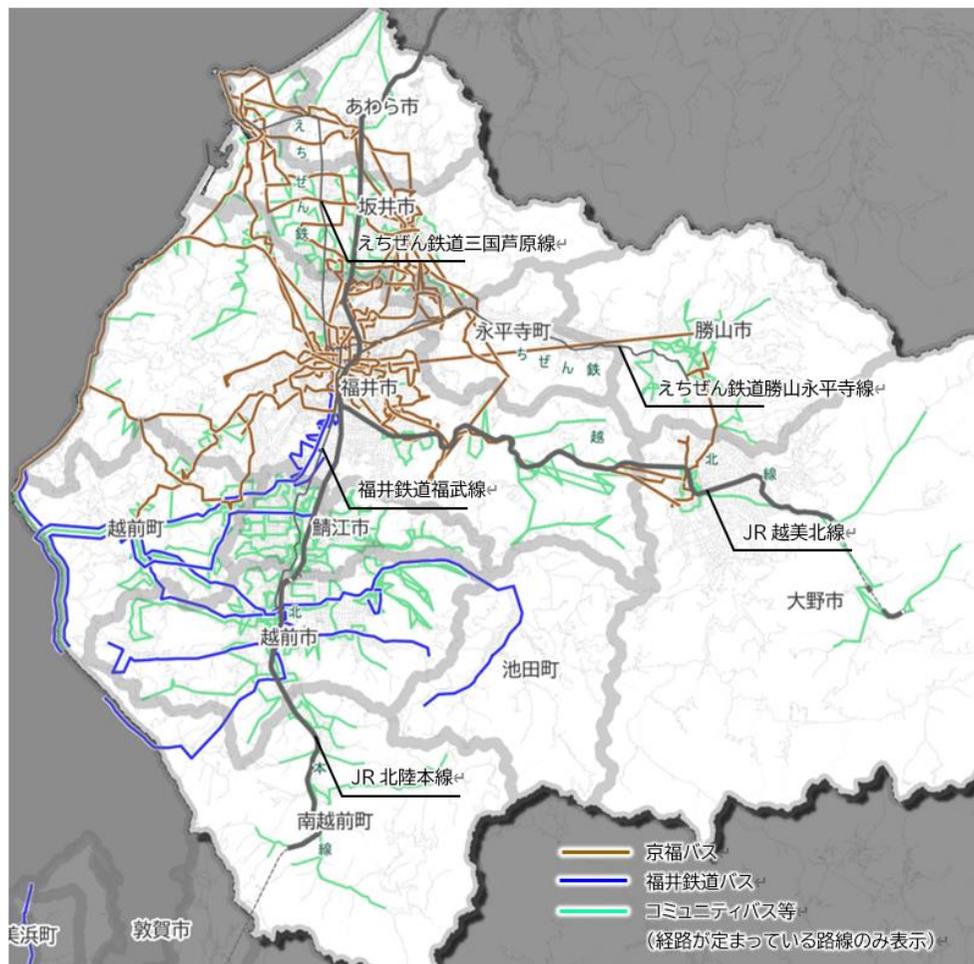
## Ⅱ. 嶺北地域の公共交通の現状

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 1. 交通ネットワーク

JR、えちぜん鉄道、福井鉄道、路線バス、各市町のコミュニティバス等で構成され、嶺北地域内外の広域移動と地域内移動を支える

【交通ネットワーク】



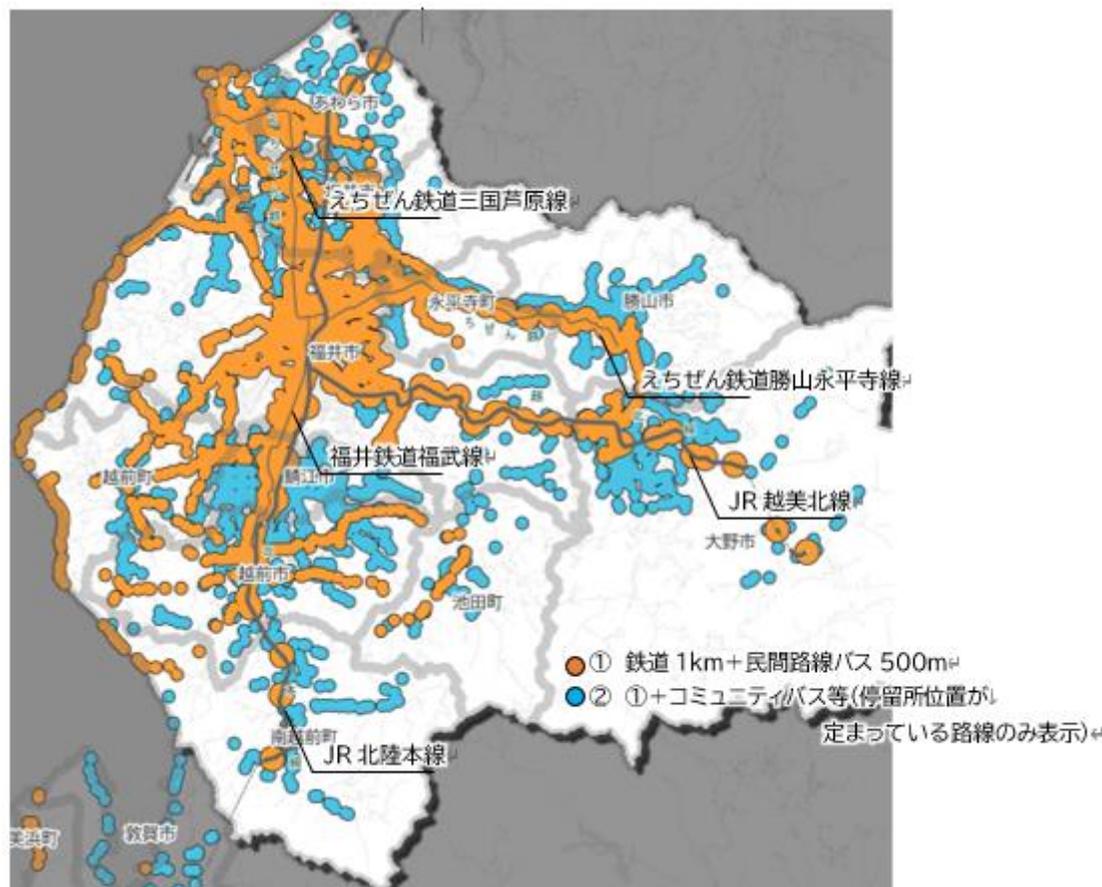
出典：バスネットワークは福井県オープンデータ（G T F S）を一部加筆修正）

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 1. 交通ネットワーク

公共交通人口カバー率はコミュニティバス等を加えると、全ての市町で95%以上  
(鉄道駅から半径1km、バス停から半径500mとして試算)



	人口	公共交通カバー人口		公共交通カバー率	
		R2国調人口	路線のみ	路線+コミ	路線のみ
福井市	262,328	246,779	251,749	94%	96%
大野市	31,286	19,423	30,920	62%	99%
勝山市	22,150	12,703	21,762	57%	98%
鯖江市	68,302	40,806	67,264	60%	98%
あわら市	27,524	20,119	26,775	73%	97%
越前市	80,611	58,972	79,178	73%	98%
坂井市	88,481	78,756	88,029	89%	99%
永平寺町	18,965	16,491	18,756	87%	99%
池田町	2,423	1,382	2,391	57%	99%
南越前町	10,002	4,571	9,538	46%	95%
越前町	20,118	16,757	19,042	83%	95%
嶺北地域計	632,190	516,759	615,403	82%	97%

路線のみ：鉄道1km圏+民間路線バス500m圏

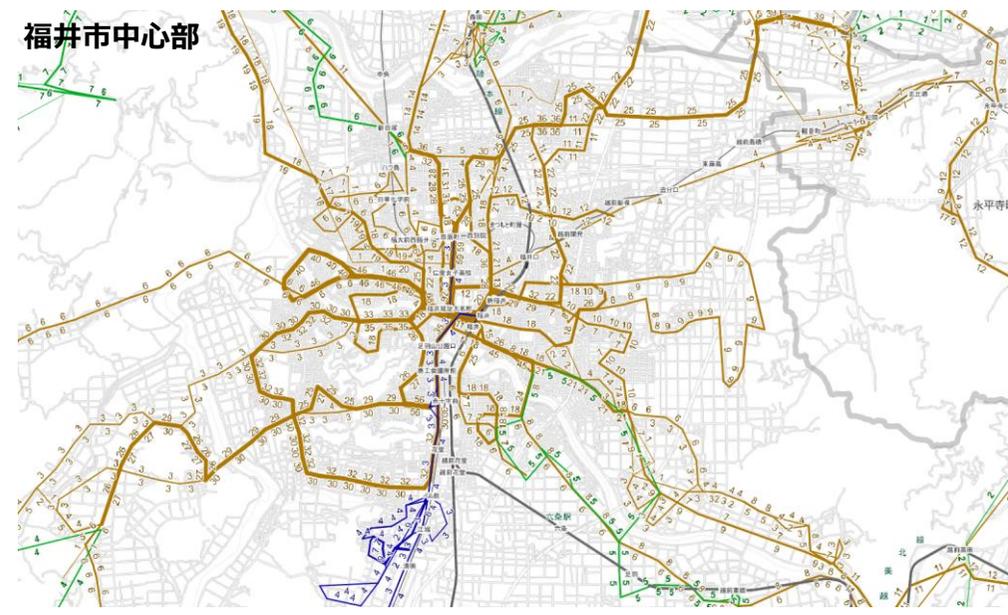
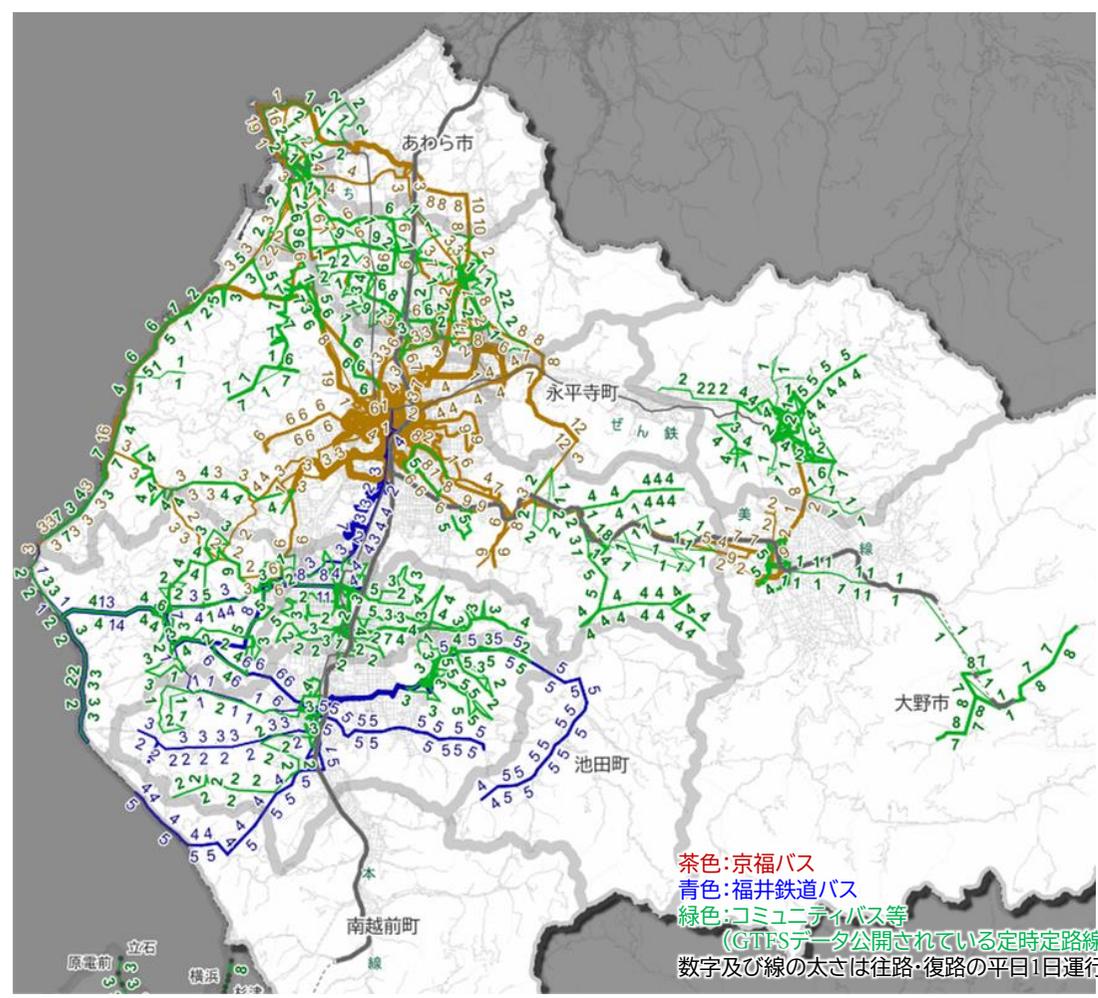
路線+コミ：鉄道1km圏+民間路線バス・コミュニティバス・乗合タクシー等500m圏  
(停留所が定まっている路線)

出典：人口は令和2年国勢調査250m人口メッシュ  
公共交通カバー人口は、メッシュ人口を元にカバー円を面積按分して市町ごとに計算)

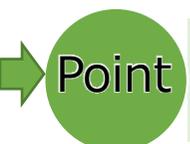
## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 1. 交通ネットワーク

福井市中心部では比較的運行本数が多くなっているが、郊外部においては、1日片道本数が1桁の区間も多く見られる。



出典：区間別運行本数（令和4年現在）  
（福井県オープンデータを元に図示）



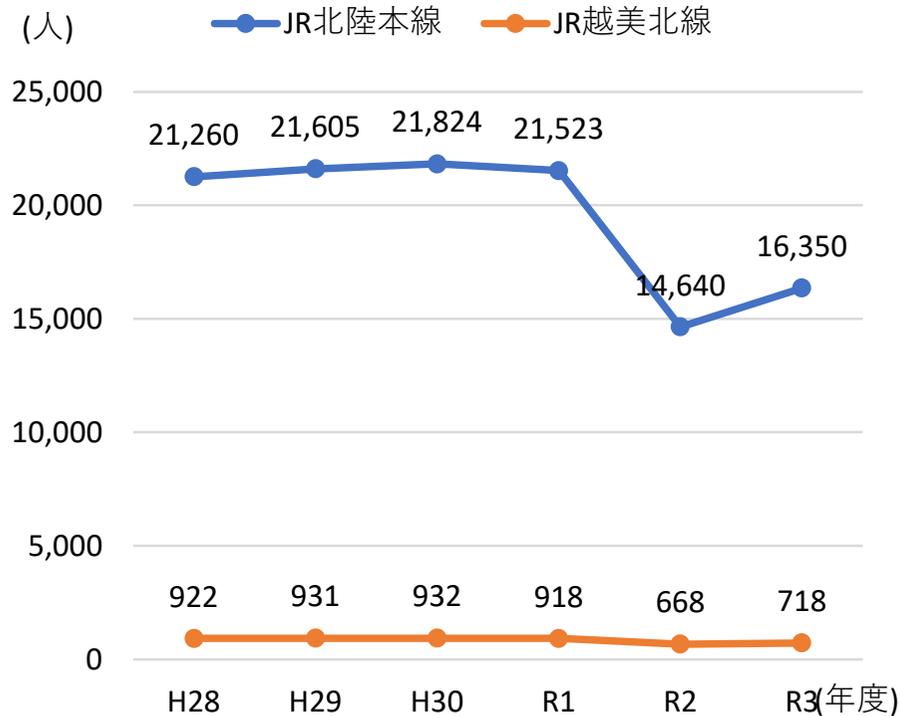
II-① 鉄道を軸として郊外バス・コミュニティバス等でネットワークが形成され、交通空白地はほぼ無い状況にあるが、鉄道沿線付近以外の郊外部は運行本数が少なく、公共交通の利用頻度は低い。

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

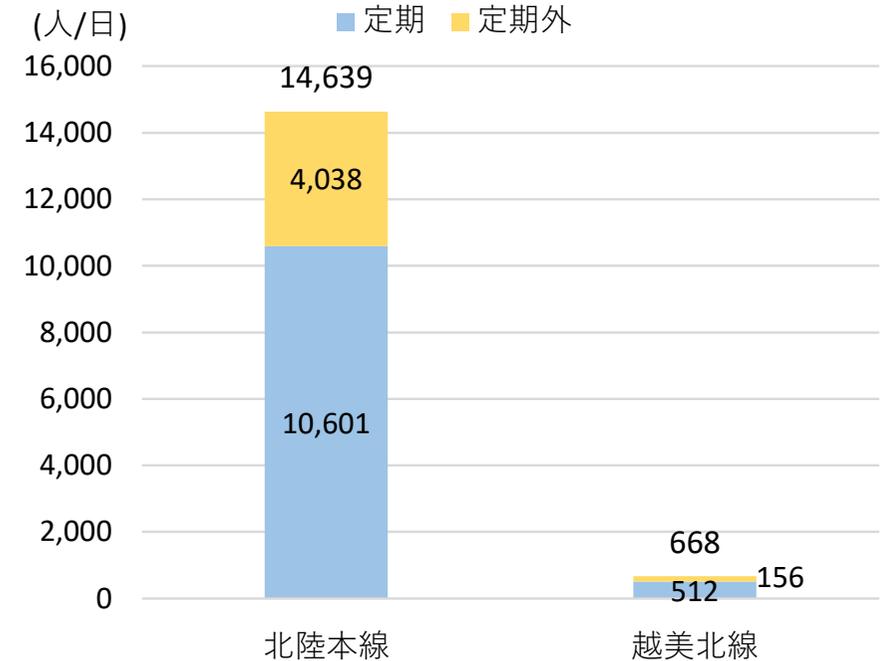
### 2. 鉄道の状況（JR北陸本線・越美北線の利用状況）

北陸本線・越美北線はコロナの影響により利用者が減少している

【JR西日本各線の1日当たり乗車人員の推移】



【路線別の定期/定期外乗車人員（R2）】



出典：JR西日本資料及び福井県統計年鑑  
 駅別JR貨客輸送状況（1日平均）（旅客乗車人員）の合計

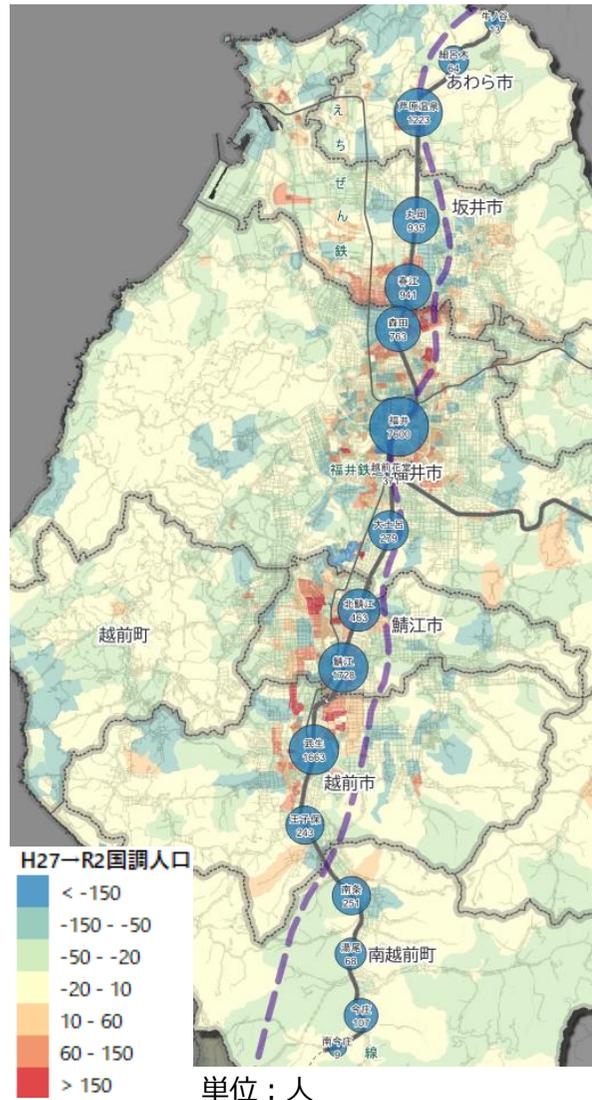
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

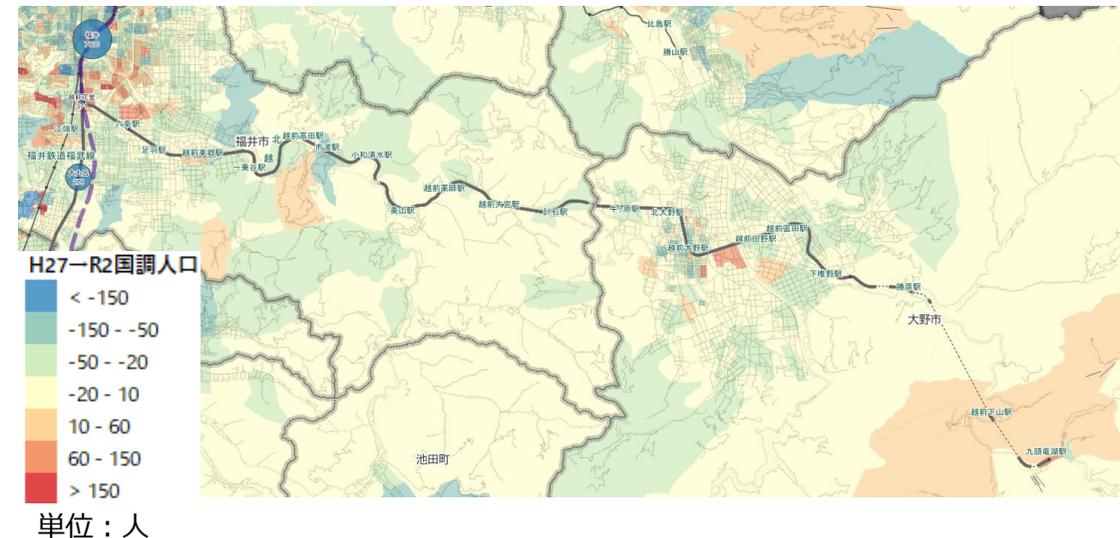
### 2. 鉄道の状況（JR北陸本線・越美北線の利用状況）

北陸本線は沿線で人口増加が見られるエリアが散見され、都市部の多くの駅では令和元年度まで駅利用者数は増加  
越美北線沿線では、多くが山間部を通り、沿線人口も大きく増えないエリアであり、利用環境は厳しい状況

【JR北陸本線の駅別乗車数  
(R3) 及び人口増減  
(平成27年度→令和2年度)】



【JR越美北線沿線の  
人口増減（平成27年度→令和2年度）】



# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

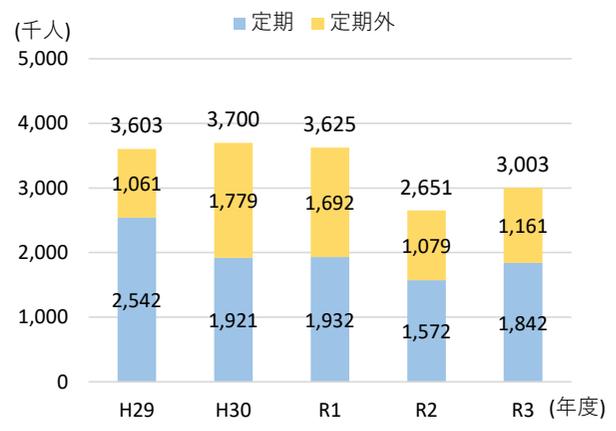
## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 2. 鉄道の状況（えちぜん鉄道、福井鉄道の利用状況）

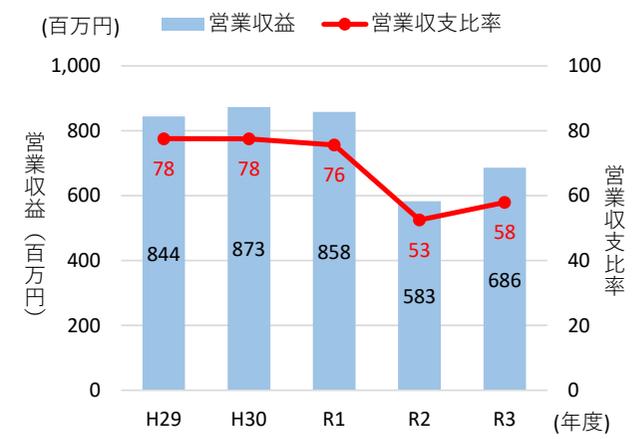
平成29年度から令和元年度までほぼ横ばいで推移していたが、コロナの影響により利用者は減少。令和3年度に若干回復したが、厳しい経営状況が継続

えちぜん  
鉄道

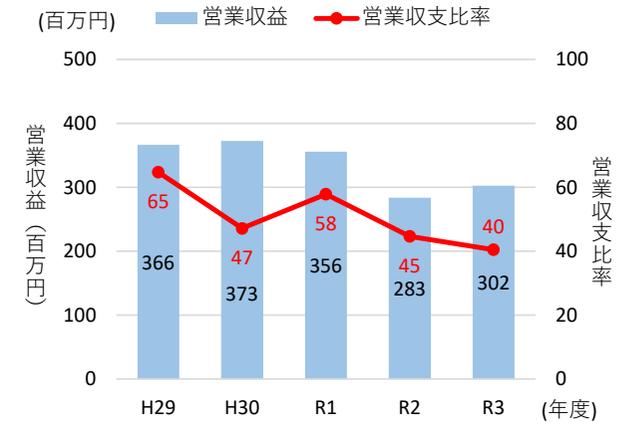
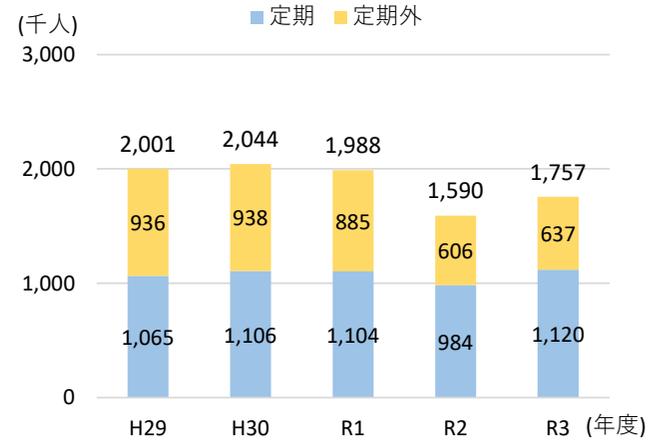
【利用者数の推移】



【収益状況】



福井鉄道



II-② コロナの影響により各鉄道路線とも利用者数が大きく減少し、一部回復の兆しはあるが、引き続き厳しい経営状況が継続している。

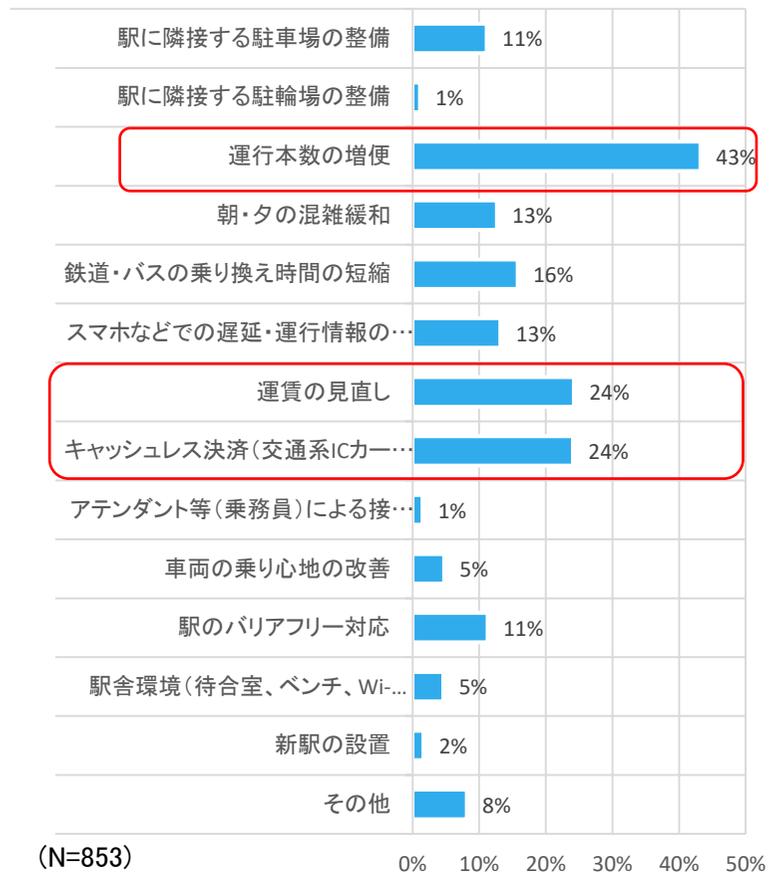
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

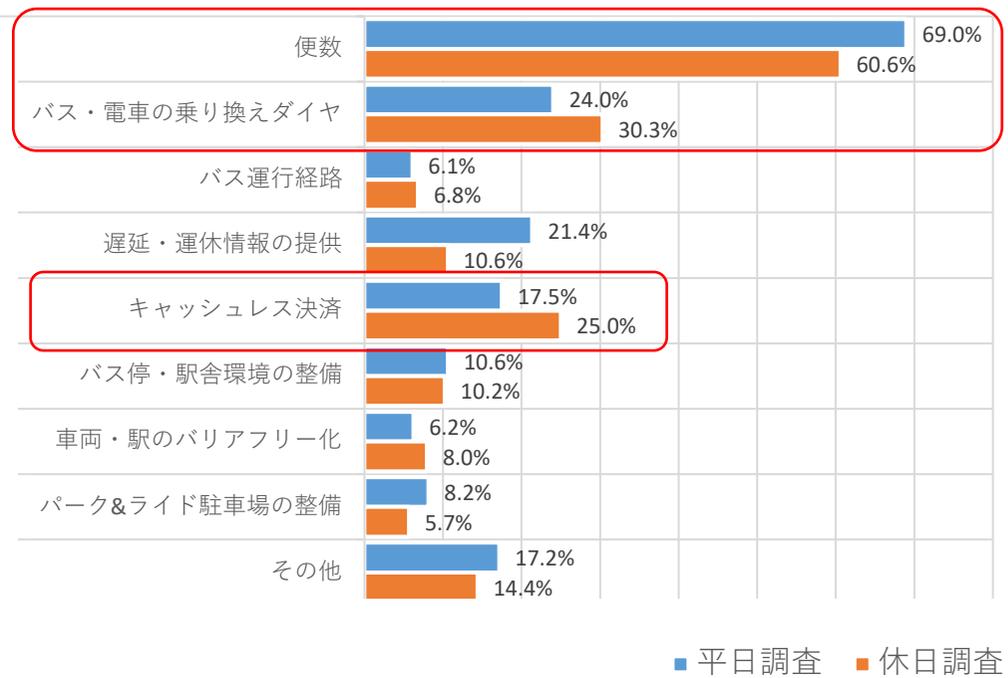
### 2. 鉄道の状況（鉄道に対する改善事項）

両アンケート共通して「運行本数の増便」「キャッシュレス対応」への要望が多い  
 個別では住民は「運賃」、利用者は「乗り換えダイヤ」への要望が多い

【住民アンケート】



【利用者アンケート】



II-③住民や利用者からは、運行本数の増便や乗換えのダイヤ見直し、キャッシュレス化等に対する要望が強い

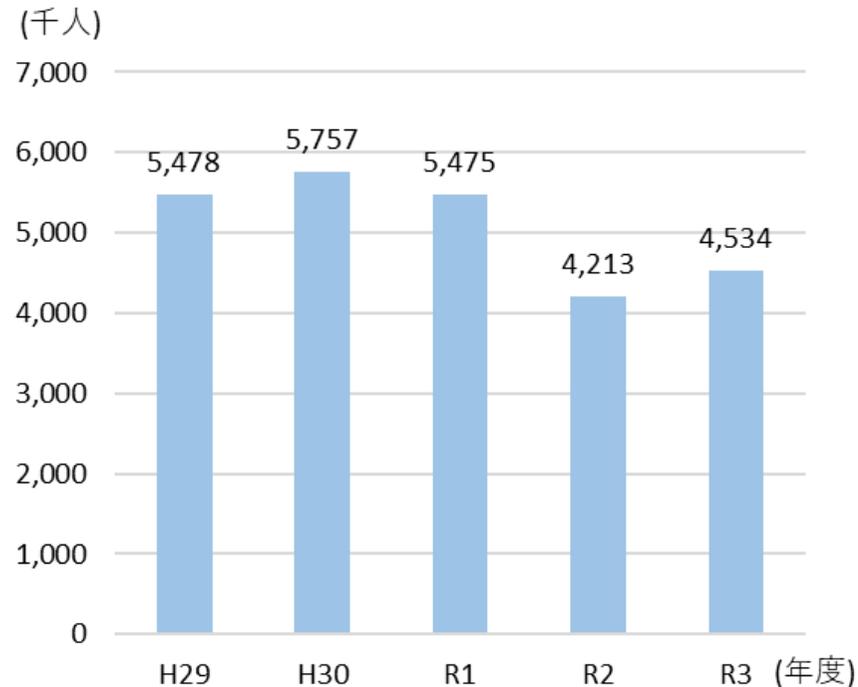
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## Ⅱ. 嶺北地域の公共交通の現状

### 3. 路線バスの状況

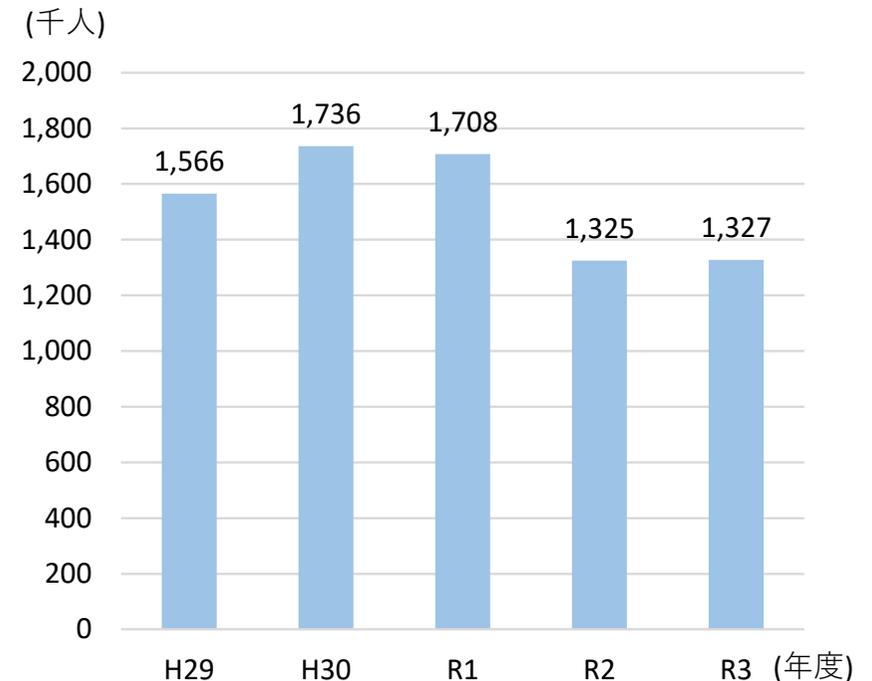
輸送人員は令和元年度まで横ばいであったが、コロナ禍の令和2年度に2割程度減少。

【輸送人員の推移（県全域）】



出典：数字でみる中部の運輸2022、福井運輸支局資料  
本数字には路線バス、高速路線バス、コミュニティバスが含まれる。

【輸送人員の推移（嶺北：地域間幹線系統）】



出典：福井県資料  
本数字はバス事業年度（前年10月から9月）

Point

Ⅱ-④ コロナの影響により路線バスは利用者数が大きく減少し、それに伴う厳しい経営状況が続いている。

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 3. 路線バスの状況（地域間幹線系統の状況）

一部の地域間幹線系統においては国庫補助要件を満たさない路線が顕在化

<参考> 地域間幹線系統：複数の市町村にまたがって走る広域的な路線バスで、1日あたりの計画運行回数が3回以上、輸送量が15人～150人/日、経常赤字が見込まれる系統をいう。

【実績輸送量の推移】

番号	事業者名	系統名	実績輸送量(人)				
			H29	H30	R1	R2	R3
1	福井鉄道(株)	武生越前海岸線	20.6人	20.2人	17.6人	17.1人	16.4人
2	福井鉄道(株)	福浦線	14.8人	15.1人	15.1人	12.2人	9.5人
3	福井鉄道(株)	南越線	17.6人	19.7人	24.3人	21.3人	20.5人
4	福井鉄道(株)	鯖浦線(かれい崎)	5.1人	10.2人	9.0人	6.9人	8.6人
5	福井鉄道(株)	鯖浦線(織田)	7.2人	12.0人	14.1人	15.9人	20.3人
6	福井鉄道(株)	池田線	15.0人	13.0人	-	-	6.0人
7	京福バス(株)	越前海岸ブルーライン	-	54.6人	54.6人	35.9人	34.2人
8	京福バス(株)	エンゼルランド線	-	-	22.0人	9.2人	10.1人
9	京福バス(株)	丸岡線	83.4人	78.1人	21.0人	17.1人	12.9人
10	京福バス(株)	県立病院丸岡線	41.6人	45.2人	45.1人	39.6人	39.9人
11	京福バス(株)	大学病院線	-	17.5人	20.0人	19.6人	15.9人
12	京福バス(株)	大和田丸岡線	-	-	46.2人	40.7人	39.5人
13	京福バス(株)	大和田大学病院線	-	-	89.9人	64.5人	69.0人
14	京福バス(株)	勝山大野線	15.3人	15.3人	15.3人	11.2人	12.2人
15	京福バス(株)	大野線	56.4人	54.7人	42.9人	33.0人	32.4人
16	京福バス(株)	清水グリーンライン	61.5人	66.1人	68.4人	49.9人	46.8人
17	京福バス(株)	西田中宿堂線	15.0人	15.0人	15.0人	12.9人	12.7人
18	京福バス(株)	東尋坊線	69.0人	71.9人	73.3人	45.0人	34.5人
19	京福バス(株)	芦原丸岡永平寺線	16.5人	16.5人	16.5人	11.4人	8.0人

【収支率の推移】

番号	事業者名	系統名	経常収支率				
			H29	H30	R1	R2	R3
1	福井鉄道(株)	武生越前海岸線	50%	49%	41%	42%	36%
2	福井鉄道(株)	福浦線	58%	54%	51%	43%	36%
3	福井鉄道(株)	南越線	36%	42%	47%	47%	41%
4	福井鉄道(株)	鯖浦線(かれい崎)	21%	40%	33%	26%	34%
5	福井鉄道(株)	鯖浦線(織田)	20%	30%	33%	38%	47%
6	福井鉄道(株)	池田線	28%	25%	-	-	18%
7	京福バス(株)	越前海岸ブルーライン	-	46%	45%	32%	31%
8	京福バス(株)	エンゼルランド線	-	-	45%	21%	27%
9	京福バス(株)	丸岡線	65%	57%	74%	64%	49%
10	京福バス(株)	県立病院丸岡線	59%	56%	60%	50%	55%
11	京福バス(株)	大学病院線	-	86%	86%	79%	70%
12	京福バス(株)	大和田丸岡線	-	-	56%	47%	49%
13	京福バス(株)	大和田大学病院線	-	-	70%	49%	54%
14	京福バス(株)	勝山大野線	42%	38%	38%	28%	31%
15	京福バス(株)	大野線	47%	42%	48%	36%	37%
16	京福バス(株)	清水グリーンライン	55%	51%	53%	38%	39%
17	京福バス(株)	西田中宿堂線	68%	62%	61%	50%	54%
18	京福バス(株)	東尋坊線	79%	73%	74%	49%	36%
19	京福バス(株)	芦原丸岡永平寺線	76%	70%	69%	44%	36%



II-⑤地域間幹線系統には、一部国庫補助要件を満たさない路線があり、広域バス交通を維持確保するためにも補助要件を満たすための見直し検討等が望まれる。

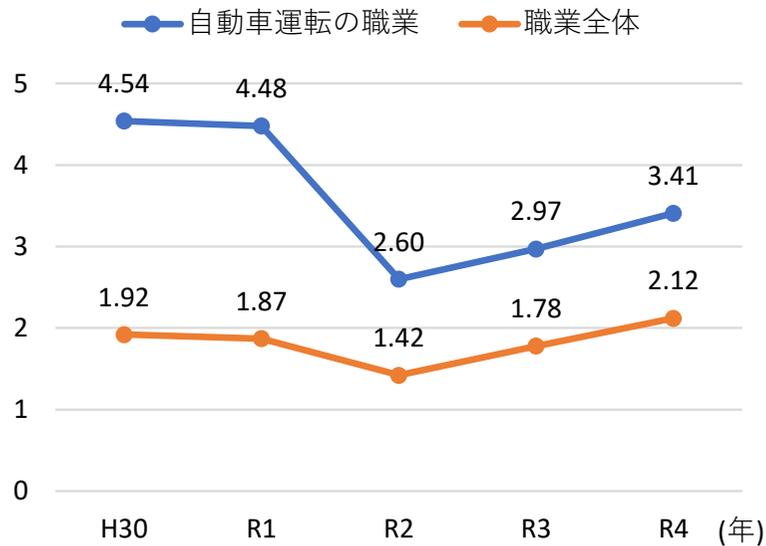
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 3. 路線バスの状況（採用者数と離職者数の推移）

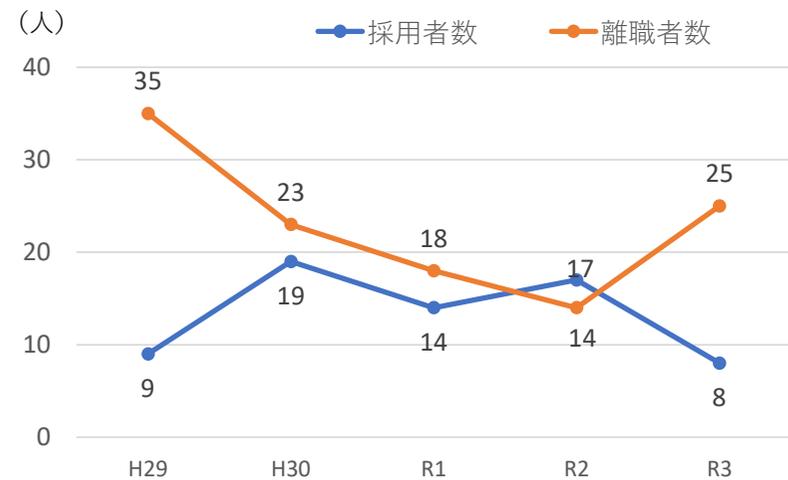
バス事業者の採用者数と離職者数においては離職者数が大きく、運転手の平均年齢が高い状況にある

【自動車運転の職業の有効求人倍率の推移（正社員）】



出典：福井労働局HP

【京福バス・福鉄バスの採用者数と離職者数の推移等】



	人数	平均年齢（歳）	充足状況（%）
乗合運転手	215	54-60	93
貸切運転手	24	54-57	100
技術職員	15	44	79
事務職員	89	48-54	96-100

出典：運転士等従業員調べ（福井県）

※各社の数値が異なる項目については、表中で数値幅を持たせて記載



II-⑥ 県内バス事業者の深刻な運転手不足が継続している

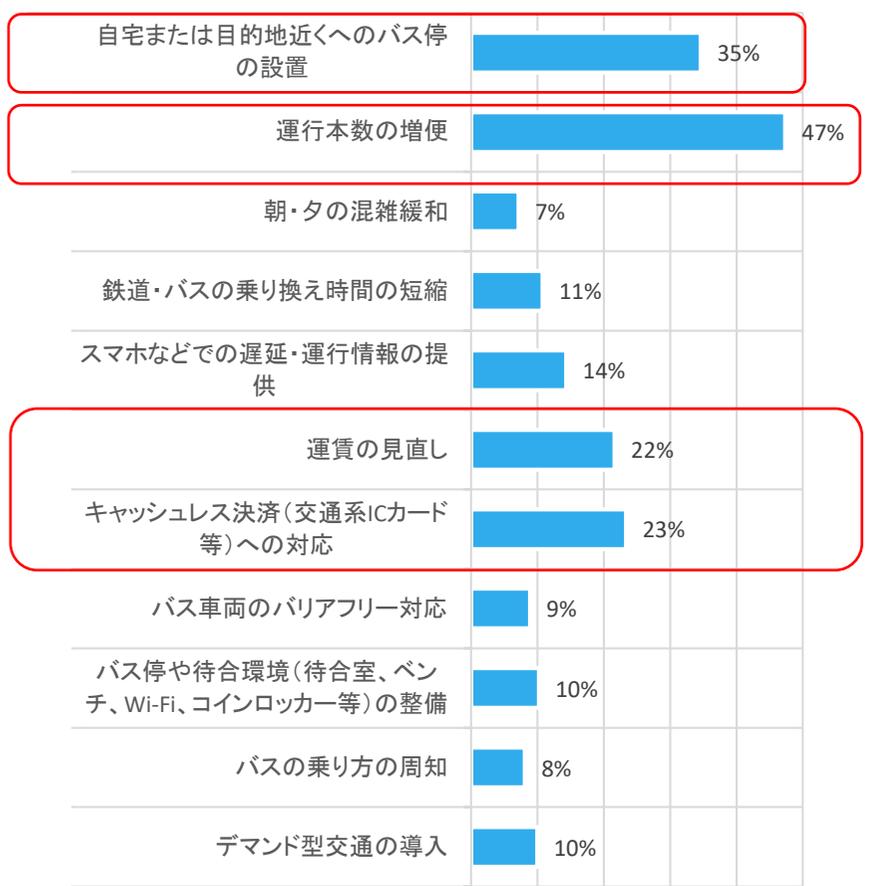
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 3. 路線バスの状況（バスの改善要望）

両アンケート共通して「運行本数の増便」「キャッシュレス対応」への要望が多い  
個別では住民は「バス停場所」「運賃」、利用者は「乗り換えダイヤ」への要望が多い

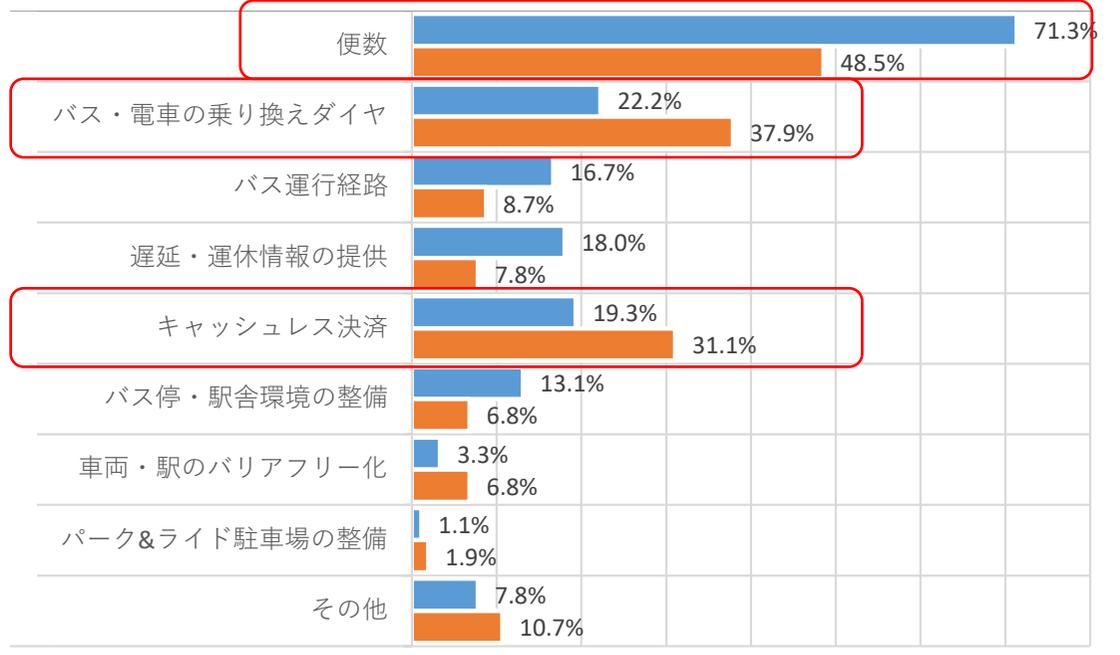
【住民アンケート】



(N=861)

0% 10% 20% 30% 40% 50%

【利用者アンケート】



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%

■ 平日調査 ■ 休日調査



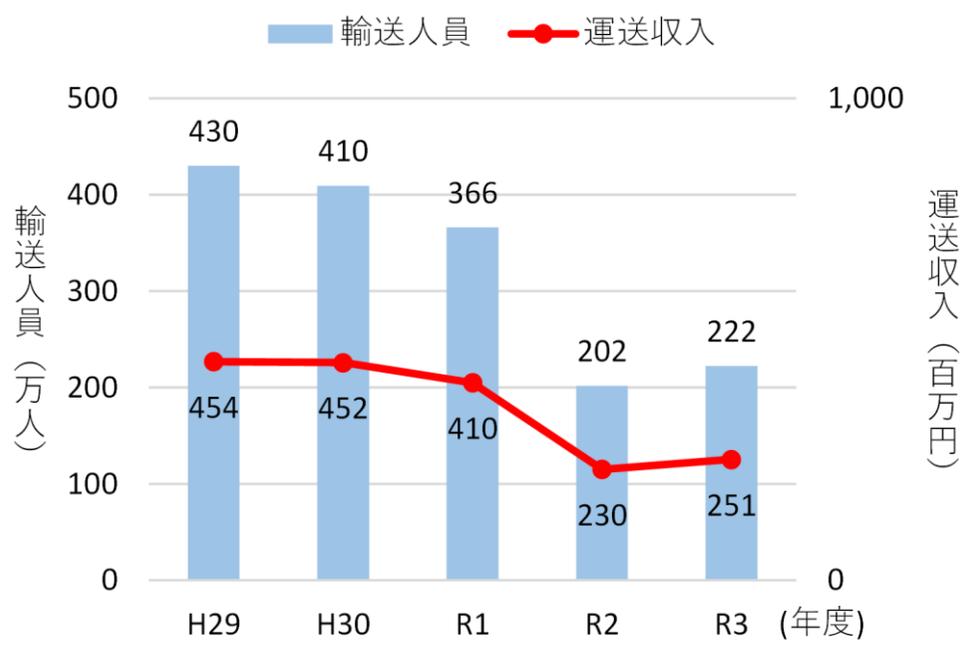
II-③住民や利用者からは運行本数の増便や乗換えのダイヤ見直し、キャッシュレス化等に対する要望が強い

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 4. タクシー

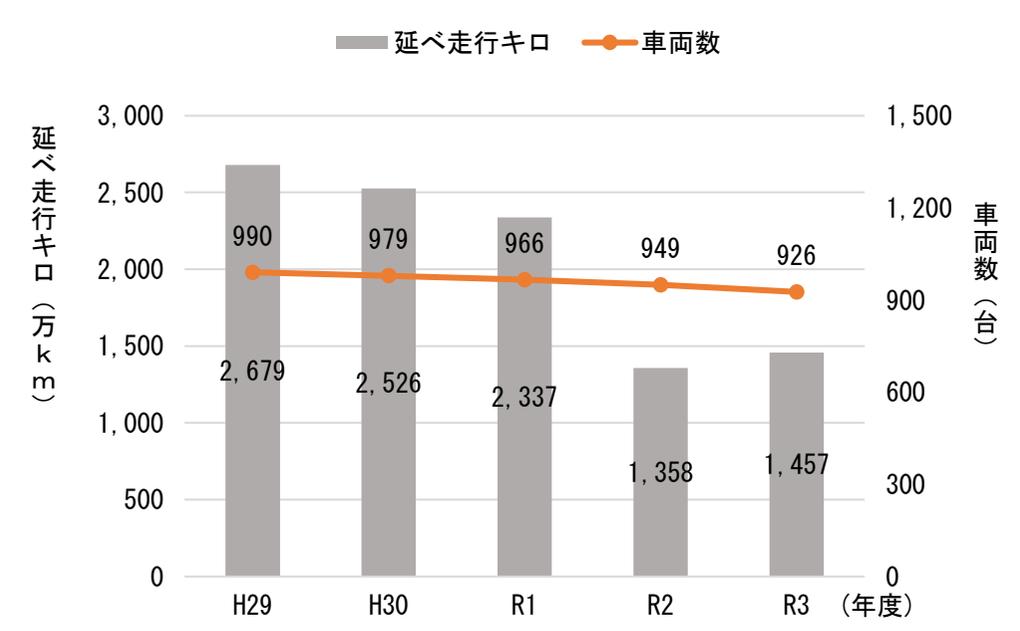
コロナの影響により輸送人員、運送収入のほか、延べ走行キロ、車両数ともに減少している

【輸送人員と運送収入の推移（福井県）】



出典：福井県統計年鑑

【延べ走行キロと車両数の推移（福井県）】



出典：福井県統計年鑑



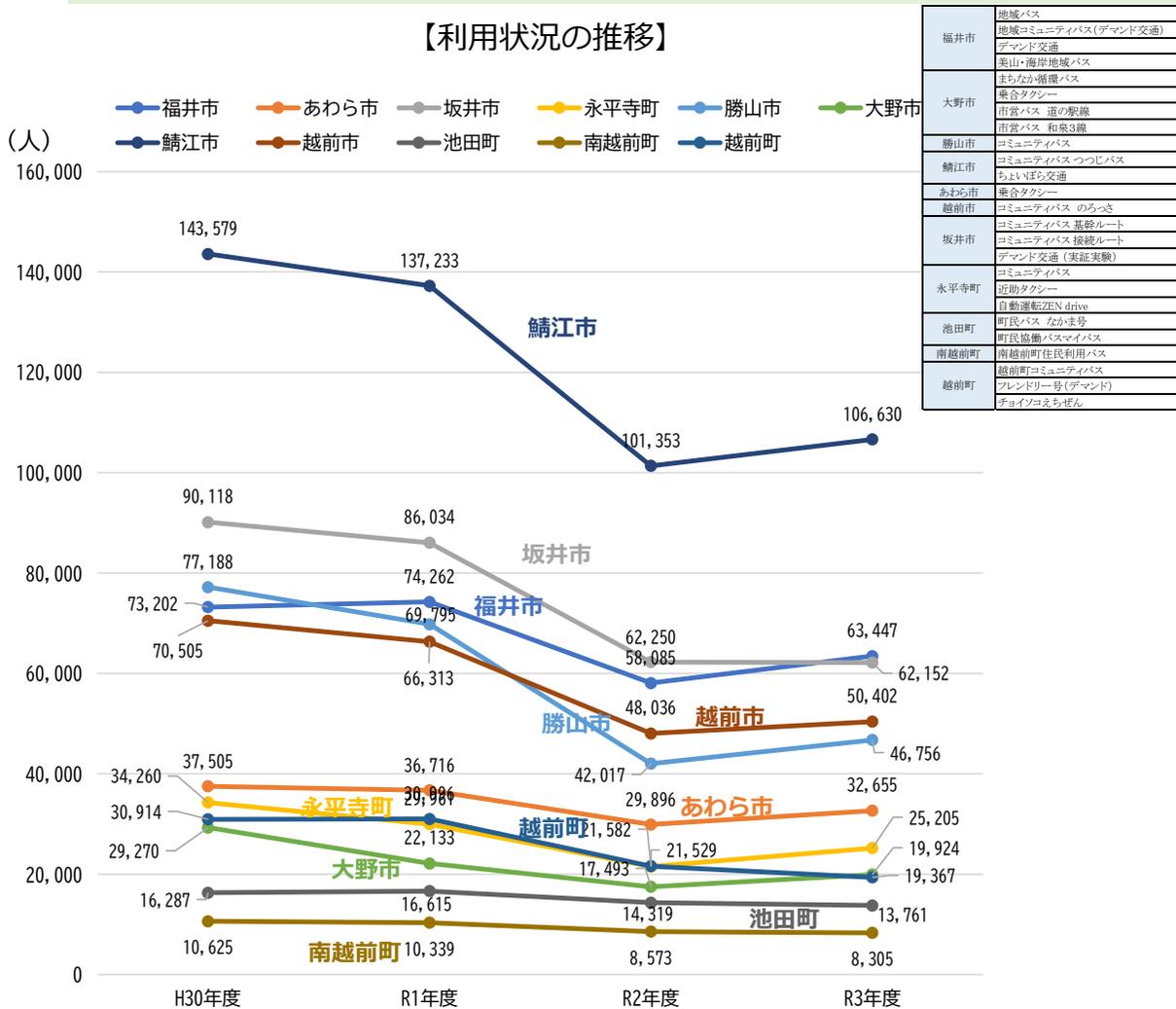
II-⑦ コロナの影響によりタクシー利用者は減少し、運送収入や運転手の確保など、厳しい経営状況が継続しており、少人数の多様な移動を支えるタクシーの将来的なリソース不足が懸念される。

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

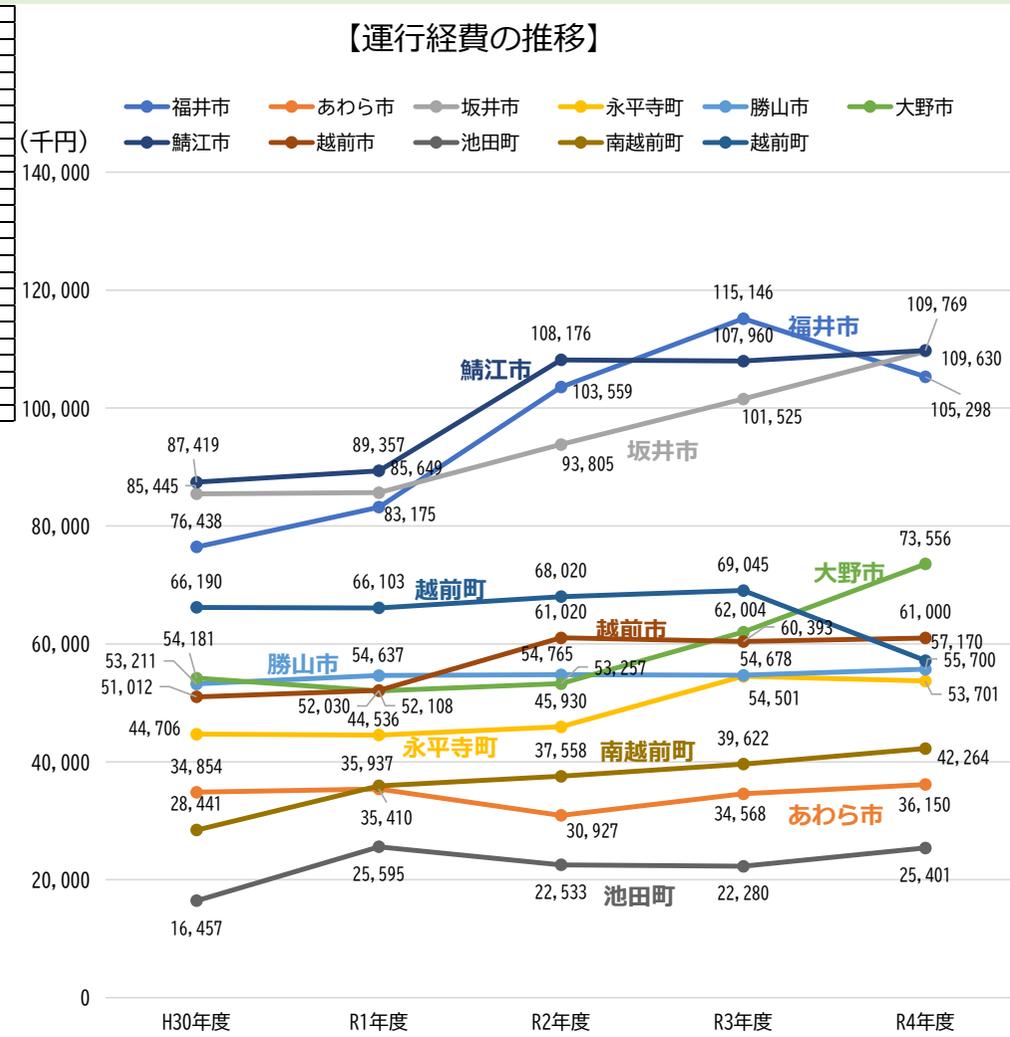
### 5. 各市町のコミュニティバス等

コロナの影響により利用者は減少し、運行経費も増加傾向

【利用状況の推移】



【運行経費の推移】



出典：市町アンケート



II-⑧ コロナの影響により利用者は減少し運行経費が増加しており、各市町の財政負担の増加、それに伴うサービスレベルの低下、さらなる利用者減が懸念される。

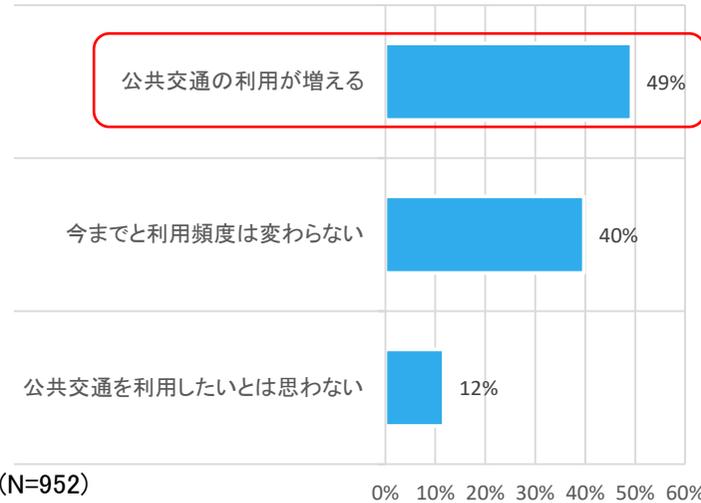
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

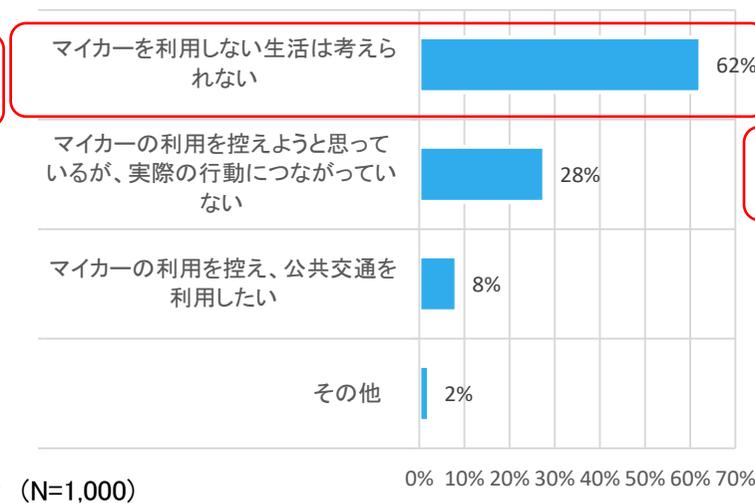
### 6. 今後の公共交通の利用意向

公共交通が改善されれば利用が増えるが約半数。  
マイカーを利用しない生活は考えられないのは6割以上を占める一方、将来的には運転をやめたいが約5割。

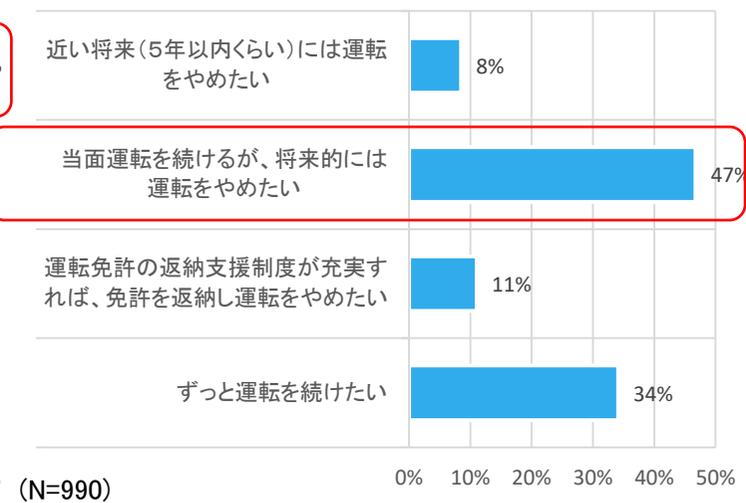
【公共交通改善時の手段転換意向】



【マイカー利用を控えることについて】



【将来的なマイカー利用意向】



出典：住民アンケート



II-⑨マイカー利用の意向が高い一方で、将来の公共交通の転換意向が高く、公共交通に乗って残す意識の醸成や公共交通の持続性を高める取組の推進が重要と考えられる。

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 7. 各市町の利用促進等の状況

各市町で公共交通事業者や大学等と連携し、利用促進に向けた取組を実施。利便性の向上や利用者数の増加など一定数の効果に繋がっている。

#### 【越美北線利用拡大に向けた取組】

J R越美北線の利用促進に関する  
大野市・福井市・福井大学共同研究  
**どうなる？どうする？JR越美北線**  
～持続可能な鉄道を目指して、今、行動を！～

#### 1. 知っていますか？JR越美北線のト

##### (1) 利用者の減少で経営が難しくなっています

- 福井豪雨後、利用者数のピークを迎えた2010年度と比較し、2019年度は約5.3%減少
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度は約31.4%減少【図1】
- 2018～2020年度の平均赤字額は8.1億円(2022年4月 JR西日本公表)

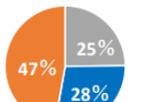


##### (2) 地域の生活を支える大切な公共交通機関です

- 越美北線の利用者は通学利用が約半数を占めており、次に通勤利用が多い【図2】
- 福井駅周辺への通学や通勤を支える大切な役割を担っています

##### (3) 沿線住民の利用状況は？

- 越美北線沿線の15歳以上の市民(43,346人)から無作為に1,200人を抽出し、アンケート調査を実施(2021年11月、回答率38.5%)
- 利用頻度について、「全く利用しない」と回答した方が約3分の2【図3】
- 回答者の1世帯あたりの自動車保有数は平均約2.8台



クルマに乗れる人にとって越美北線なんて関係ない…  
本当にそうでしょうか？

#### 【北府駅でのイベント】

## ふくぶせんフェスタ

10月31日(日) 午後1:00～午後4:00  
福井鉄道福武線北府駅パークアンドライド駐車場

#### 来場者特典

- 「福武線1日フリー乗車券」を利用して来場した先着100名に、会場でお買物券(500円分)進呈!
- 粗品(公共交通関連グッズ)進呈! ※なくなり次第終了

#### 福井鉄道イベント

<鉄道>

- 車両工場見学会 ※事前申込制 詳しくはウララ
- 福井鉄道電車展示

<バス>

- 乗り方教室&洗車体験 ※事前申込制 詳しくはウララ
- オリジナルグッズ販売

#### 飲食・展示・縁日コーナー

- 飲食コーナー(テイクアウトのみ) ※会場内での飲食はご遠慮ください
- 展示コーナー 福鉄電車写真展など
- 縁日コーナー 射的、ボール投げ、ボールすくいなど

#### ステージイベント

- ダンス(ハビネス、エルソル)
- 漫才(なべちゃんやまちゃん)
- 歌(カオリちゃん俱樂部、HIROKO)
- はびりゅうと写真撮影(福井県)

### 車両工場見学会、バスの乗り方教室&洗車体験を希望される方へ

ふくぶせんフェスタにおいて、鉄道車両工場見学会とバスの乗り方教室&洗車体験を実施いたします。参加を希望される方は、下記のとおりお申込みをお願いいたします。

【鉄道車両工場見学会(3回開催)】  
日時 10月31日(日) ①13:45 ②14:30 ③15:15

【バスの乗り方教室&洗車体験(2回開催)】  
日時 10月31日(日) ①14:00 ②15:00

【申し込み方法】10月20日(水)17時必着

- 電子メールにて「fukubusenfes@gmail.com」までお申込みください。
- 件名は「鉄道車両工場見学会参加希望」もしくは「バスの乗り方教室&洗車体験」としてください。
- メール本文に、参加される方全員のお名前、年齢、住所、電話番号、参加希望の時間帯を入力してください。
- 1連のメールで最大3名まで応募いただけます。
- 鉄道車両工場見学会は安全面を考慮し、小学生以上を対象とします。
- 応募者多数の場合は抽選になります。
- 抽選は10月21日(木)に実施し、当選者の発表は当選メールをもって代させていただきます。



お申込みはこちら

#### 【田原町駅前広場でのイベント】

## カーフリーデーふくい2022

2022年9月18日(日) 10:00～16:00  
田原町駅前広場 田原町ミューズ

#### カーフリーデーステージ

- 音楽ステージ
- 物語の朗読

#### カーフリーデー広場

- あおぞら絵本図書館
- 出前図書館
- バスの乗り方教室
- たわらまちアリアリ体験会
- たわらまちクイズラリー
- 書籍等の無料貸借会
- バスグッズ
- 電車グッズ販売

#### ホジロバで「ちょい旅」

- バス電車を貸して旅先
- サイクリングツアー
- 田原町フォトオリエンタリング

#### カーフリーデー本部

- モビリティセンター
- キャンピングカー

#### モビリティウィークふくい2022

9/12月～22日(木)

- モビリティウィーク&カーフリーデーパネル展
- モビリティウィークふくい2022
- モビリティウィークふくい2022




II-⑩各市町で公共交通事業者や大学等と連携し、利用促進に向けた取組を実施しており、一定効果が確認できた取組の共有、水平展開が重要と考えられる。

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 7. 各市町の利用促進等の状況

※空欄は記入なしもしくは特になし

※一部加工

青字：効果、赤字：課題

市町名	サービス改善の取組	情報提供の取組	利用促進の取組	ハード整備	その他取組
福井市	①フルデマンドタクシー運行開始(R3.8) ②すまいるバスダイヤの改正(R3.10)		①出前講座 ②カー・セーブ運動 ③カーフリーデーふくいへの参加 ④各種リーフレットの配布 ⑤福鉄企画乗車券の充実 ⑥福鉄野外学習等事業への運賃助成 ⑦越美北線利用拡大キャンペーン事業	①福鉄駅待合環境の整備改修 ②福井鉄道、えちぜん鉄道の多言語対応 ③福井鉄道維持修繕費支援	①ミライロID(障害者手帳アプリ)に対応 ②ラッピング電車(R3.7オリパラ選手) ③危険なバス停対応
	①登録者数、利用者数ともに運行開始時に比べ増加 ①予約方法が主に電話 ①フルデマンドタクシー制度の周知 ②1便あたりの利用者の増加 ②北陸新幹線開業にあわせたルート・ダイヤの見直し		①参加者が増加 ②参加者及び回数が増加 ④配布数が増加 ⑤利用者が増加 ⑥利用者が増加		①ミライロID自体の周知 ③R3.1時点で22箇所あったが、R4.10時点で16箇所対応済み
大野市	①まちなか循環バスのダイヤ改正(他公共交通との接続強化) ②道の駅開業に合わせた路線変更	①希望者へのマイ時刻表の作成 ②グーグルマップ等へのバス路線情報の追加、更新	①イベント時増便・循環バス情報掲載 ②利用者へ次回無料券の配布 ③越美北線沿線の買い物補助券の配布 ④おでかけイベントの実施 ⑤越美北線無料乗車イベントの開催 ⑥越美北線沿線美化活動の支援		
			・まちなか循環バスのR3利用者数は昨年度より増加 ・イベント等により越美北線に対する関心や愛着を醸成 ・コロナ禍前の水準には戻っていない ・日常利用の新規獲得が課題		
勝山市	①コミバス、観光バス、恐竜館直通便のNAVITIME対応	①希望者へのマイ時刻表の作成 ②観光施設へのバス時刻表の作成	①高齢者等バス・タクシー利用券配布 ②スキー場利用促進事業を実施		①乗り方教室の実施
	①バス利用者の利便性向上	①利便性向上 ②観光利用促進	①高齢者の外出機会の確保及び利用促進 ②事業者支援		①バスの利用促進
鯖江市	①つつじバスのダイヤ改正(R4.4)	①携帯時刻表の全戸配布 ②HP上でのバスロケ情報発信	①つつじバス出前講座の実施(高齢者サロン向け) ②福井鉄道西鯖江駅P&R駐車場の供用開始	①つつじバス車両を1台購入	
	①利用者数および問合せ内容について注視中	②若年者向けにつつじバスに関する情報をHPとは別にSNSによる発信を行うことを検討中	①コロナの拡大状況によって計画通りの開催が難しかった	①車両デザインの変更によるバスへの愛着醸成	

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 7. 各市町の利用促進等の状況

※空欄は記入なしもしくは特になし  
※一部加工

青字：効果、赤字：課題

市町名	サービス改善の取組	情報提供の取組	利用促進の取組	ハード整備	その他取組
あわら市	①車内抗菌コーティングを実施	①最新の停留所を記載したパンフレット、地図を製作	①高齢者向け乗合タクシー説明会の開催 ②カー・セーブ運動	①乗合タクシー停留所の新設、移設、廃止 ②あわら湯のまち駅の多言語放送案内およびトイレ改修	
	①利用者の安心		①登録者数が増加	①利用者の利便性向上	
越前市	①市民バスのダイヤ改正(R2.4) ②新型コロナウイルス対策の抗ウイルス・抗菌加工処理	①市民バス時刻表の全戸配布 ②庁内掲示板で職員に公共交通の利用案内	①出前講座 ②カー・セーブ運動 ③北府駅前でのイベントの開催(ふくぶせんフェスタ) ④各種リーフレットの配布 ⑤福井鉄道企画乗車券の充実 ⑥福井鉄道野外学習等への支援	①福井鉄道待合環境の整備改修 ②福井鉄道多言語対応 ③福井鉄道維持修繕費 ④市民バス車両購入 ⑤北府駅鉄道ミュージアムの整備	①危険バス停の移設 ②越前たけふ駅二次交通需要調査に着手
	①利用者数および問合せ内容について注視中 ②利用者の安心		①参加者が増加 ②参加者が増加 ③R3年度来場者数は1800人 ④利用促進 ⑤利用者数の増加 ⑥利用者数の増加	①コロナ禍により利用者は減少し、コロナ前への回復が課題	①危険性の高いバス停の減少 ①引き続き、危険バス停ゼロに向けて取り組む必要
坂井市	①オンデマンド型交通の実証実験(R3.5) ②コミュニティバスのダイヤ改正 ③新型コロナウイルス対策の抗菌加工処理 ④乗車率の高いコミュニティバス等の増便運行	①コミュニティバス停表示板の改修 ②コミュニティバス時刻表の配布	①えち鉄との連携イベントの開催 ②鉄道駅舎の美化活動 ③カー・セーブ運動 ④オンデマンド型交通の説明会 ⑤地域団体主催イベントへの協力	①駅のリニューアル支援、交流スペースの設置、バリアフリー化 ②駅の照明機器取替、トイレ修繕、点字ブロック修繕	
	①利用者の増加 ①予約方法が主に電話 ②利用者の利便性向上 ③利用者の安心 ④利用者の安心、利便性向上	①予算上、改修数に限りがある	①定員を上回る申し込み ②環境美化に寄与 ③参加者数の減少 ④登録者数の増加、利用促進 ⑤地域鉄道への愛着醸成	・利便性向上	
永平寺町	①コミバスの新規バス停設置(R3) ②近助タクシー実用化エリア拡大(R4)	①希望者へのマイ時刻表の作成	①小学生への近助タクシー乗り方教室の開催	①えち鉄駅 トイレ改修 ②コミュニティバス新型を購入	
	①利用者の利便性向上 ②利用者数および問合せ内容について注視中			①利用者の利便性向上 ②利用者の利便性向上	

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 7. 各市町の利用促進等の状況

※空欄は記入なしもしくは特になし  
※一部加工

青字：効果、赤字：課題

市町名	サービス改善の取組	情報提供の取組	利用促進の取組	ハード整備	その他取組
池田町	①町民協働マイバスの新型車両を購入予定(R4.12)	①コミュニティバスの運行ルート、時刻表を改正 ②地区ごとに対応した専用の時刻表を配布	①中学生向けにマイバス、定期券助成の説明会		
		①利用者の増加 ①利用者の増加			
南越前町	①南条地区の住民利用バス運行の見直し ②河野地区線の時刻表見直し	①町HPでの住民利用バスの周知	①広報誌において町公共交通特集ページを掲載	①南条地区の住民利用バス車両購入	
	①利用者の増加 ②コロナにより利用者減少				
越前町	①町内の交通体系大幅見直し ・コミバスの路線集約 ・デマンドタクシー新設”	①ハンドブック時刻表全戸配布 ②グーグルマップへのコミバス運行情報掲載	①コロナによる外出支援のため、コミバス無料運行期間の実施 ②デマンドタクシー利用促進(特典進呈) ③デマンドタクシー説明会	①デマンドタクシーの車両購入	①危険バス停の縮減
	①利用者の利便性向上、公費投入額の減少	①利用者の利便性向上	①利用者の増加、新規利用者の確保 ②利用促進 ③利用促進	①利用者の利便性向上	①待合環境と安全性の向上



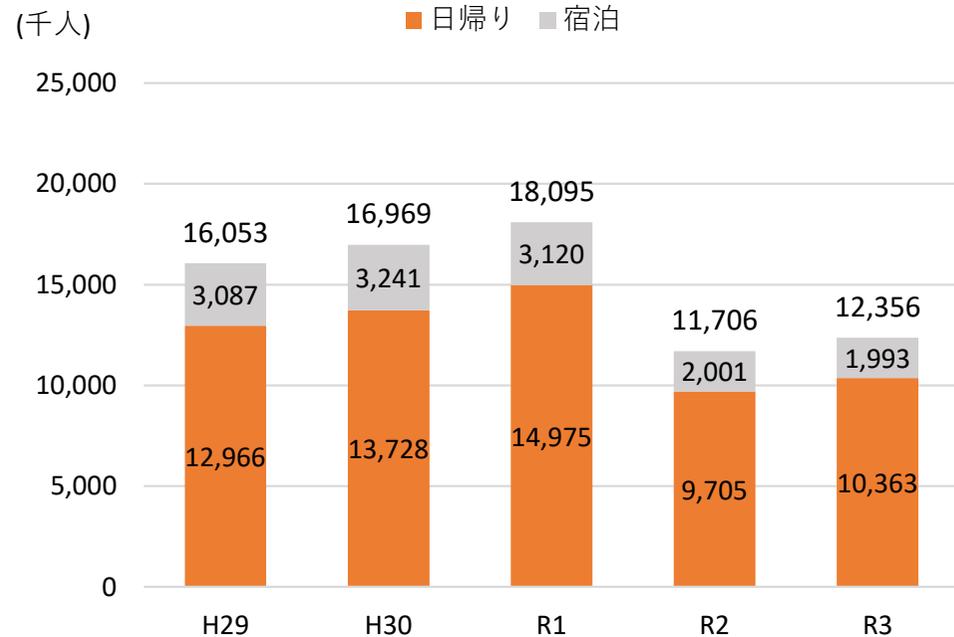
# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 8. 観光の状況

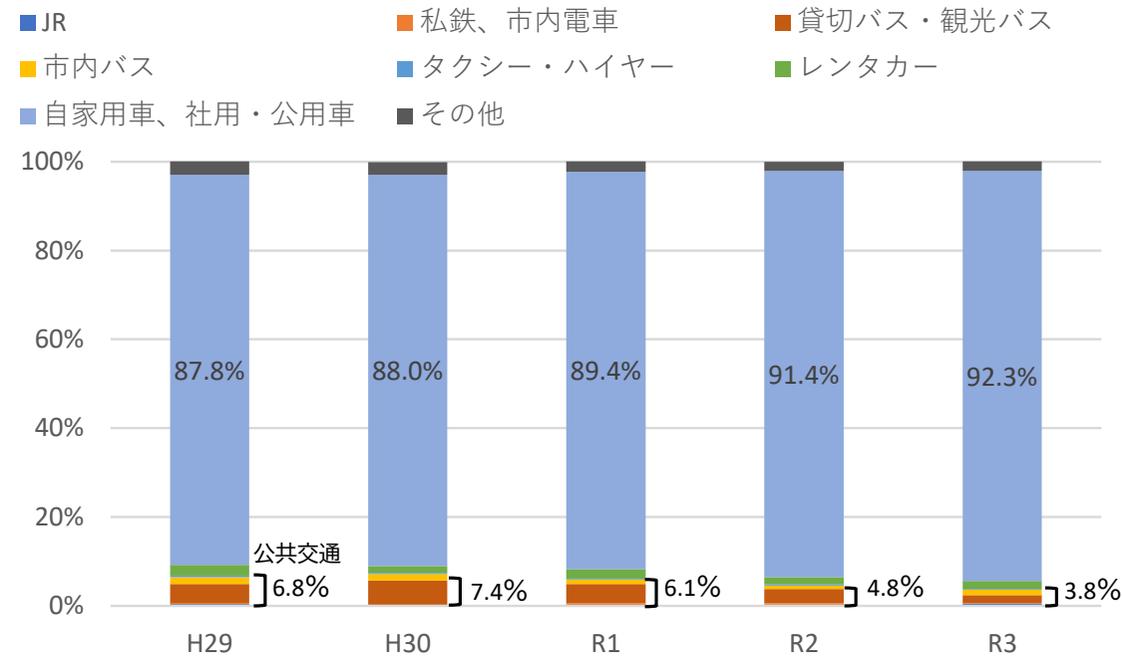
コロナの影響により令和2年の観光入込客数は大きく減少したが、令和3年は増加に転じている  
観光客の県内での移動手段は自家用車が約9割で、公共交通の利用は少ない

【観光入込客数の推移】



出典：福井県観光入込客数

【観光客の県内での移動手段】



公共交通  
JR、私鉄、市内電車、貸切バス・観光バス、市内バス、タクシー・ハイヤーの合計

出典：福井県観光動態調査

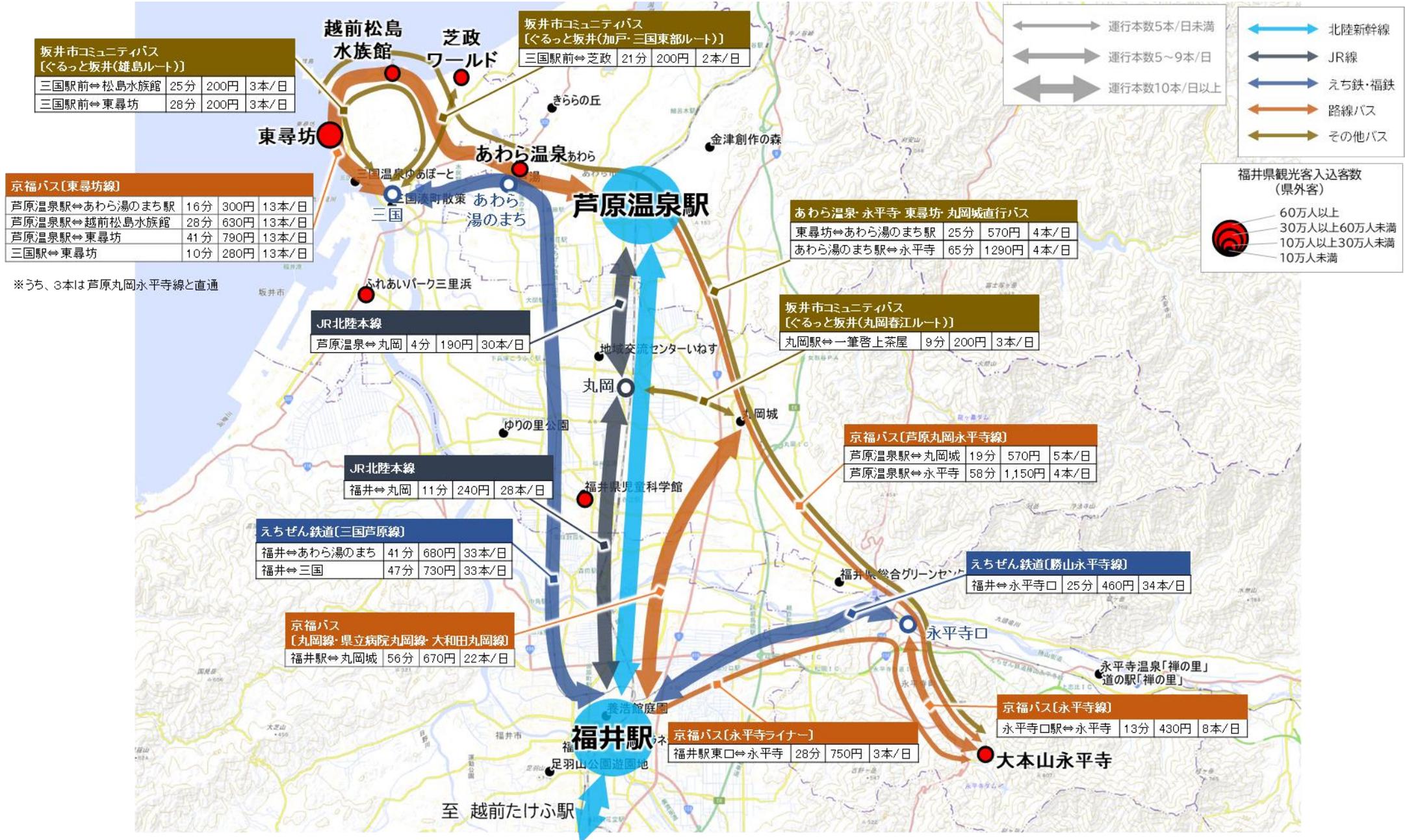
Point

II-⑪ コロナの影響により観光入り込み客数は減少したものの若干回復しており、北陸新幹線開業に伴い、さらなる増加が期待される。

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

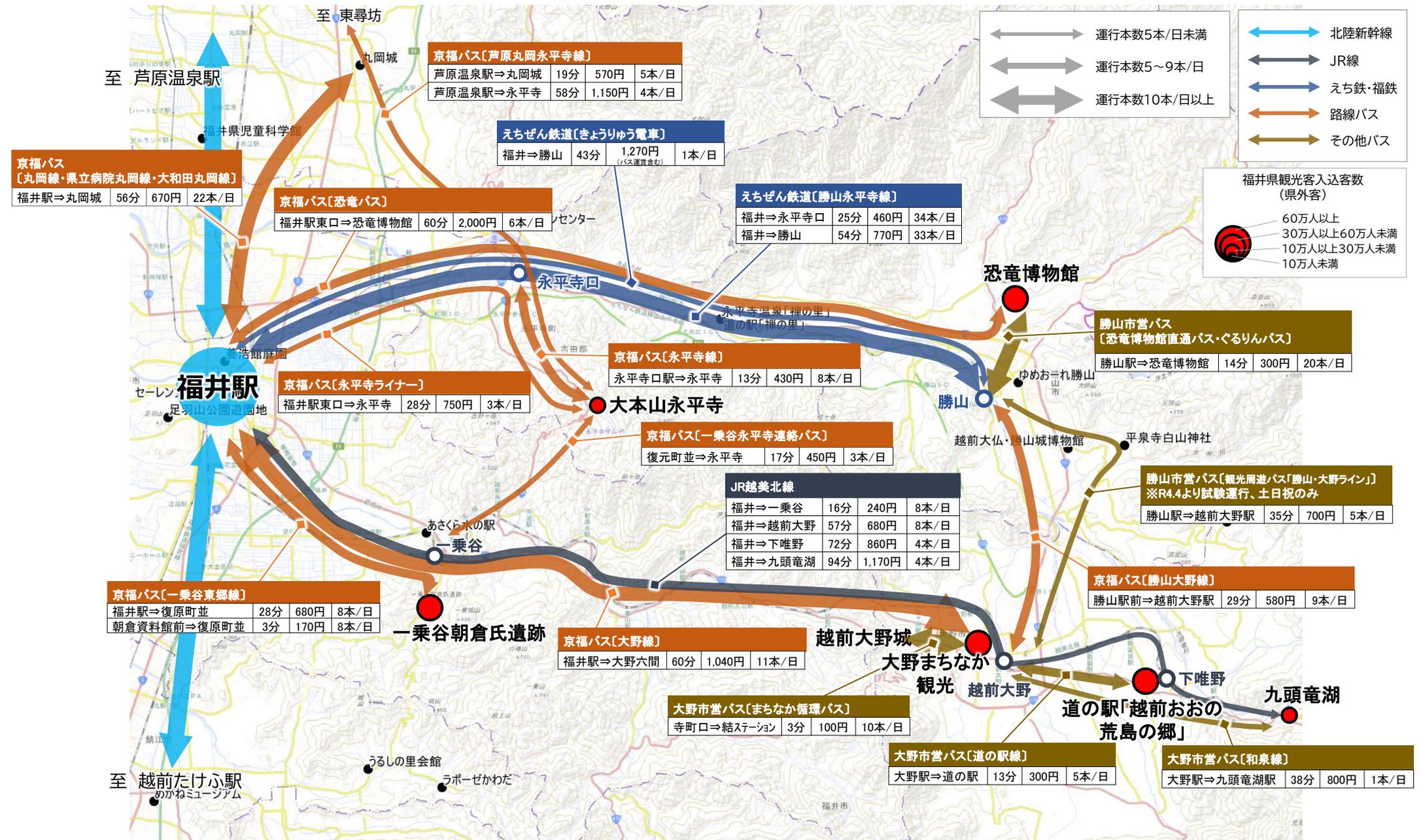
### 主な観光施設の分布及び交通手段（坂井地区）



# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 主な観光施設の分布及び交通手段（奥越地区）





# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 9. 北陸新幹線の開業効果

2023年度末（令和5年度末）の北陸新幹線敦賀開業を目指し、金沢－敦賀間の125km（工事区間：白山車両基地－敦賀間113km）の建設工事を実施中。

開業後は、東京～福井間が2時間53分（現在より34分短縮）となり、乗り継ぎなしで福井と首都圏がつながる。

【北陸新幹線ルート略図】



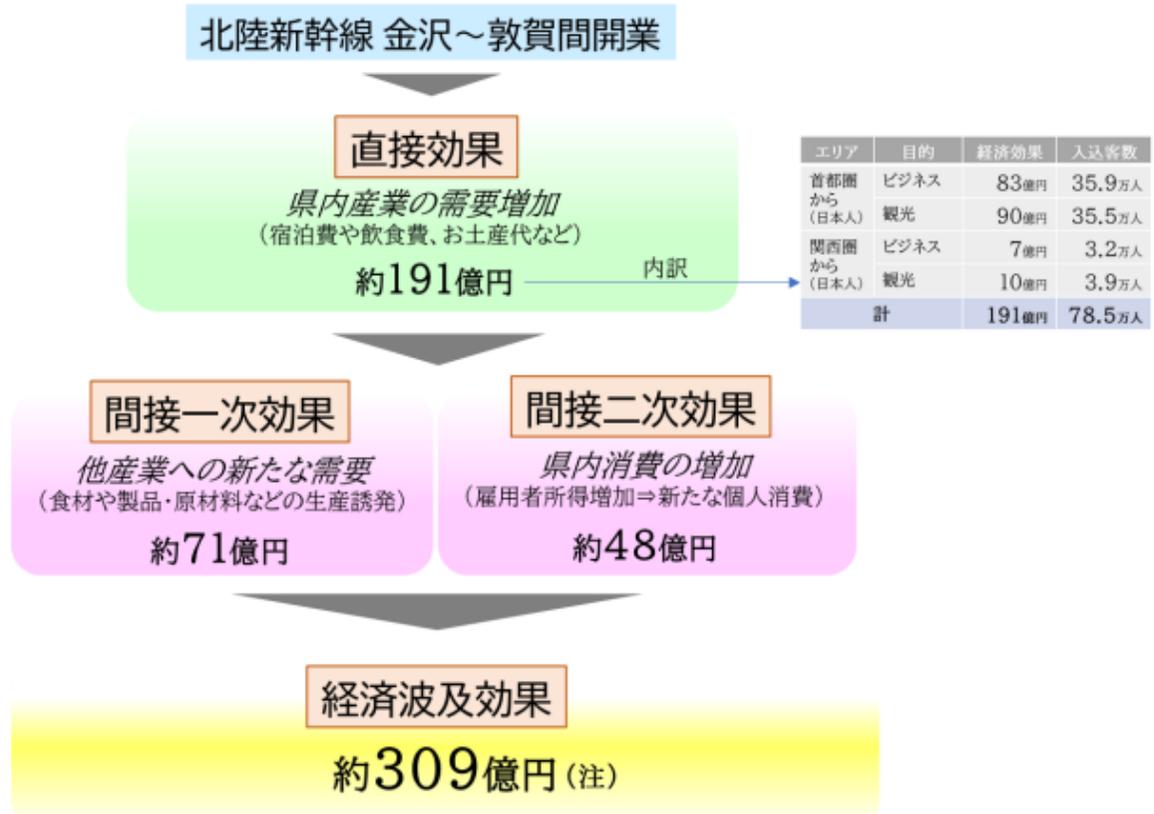
【北陸新幹線 全線開業による所要時間短縮効果】



## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 9. 北陸新幹線の開業効果

北陸新幹線開業に伴う時間短縮効果により、首都圏及び関西・中京圏との交流が増加すると見込まれる。ビジネスや観光における交流人口が増加すれば、宿泊費や飲食費、土産代などの県内消費などの直接効果のほか、他産業への間接波及効果も含め、約300億円を超える経済波及効果が見込める。



出典：日本政策投資銀行における経済波及効果 (R2.2)

(注) 合計金額は端数処理により各項目金額と異なる



II - ⑬北陸新幹線の金沢～敦賀間開業に伴い、東京～福井間2時間53分(34分短縮) 経済波及効果は約300億円を超え、交流人口が78.5万人増加すると予測されるなど、地域に大きなインパクトをもたらす

# 嶺北地域の主な現状と課題、方向性の整理

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 10. 二次交通のエンタメ化

北陸新幹線敦賀開業に向け、楽しみながら移動するための取り組みや発信を推進を検討しているところ。

#### 二次交通エンタメ化プロジェクト

##### 【目的】

##### 【戦略および内容】

###### 乗りたくなる仕掛けづくり

「この乗り物に乗ってみたい」と思わせるような車両を運行する。

- 恐竜列車の運行（えちぜん鉄道福井駅～勝山駅）【恐竜プロジェクトと共通】  
車両の外装には恐竜ラッピングを施し、内装には恐竜時代にタイムスリップしたかのような雰囲気を演出した2両1編成の「恐竜列車」を運行
- 戦国列車の運行（JR越美北線）  
一乗谷朝倉氏遺跡や越前大野城下町に向かう車両に戦国を想起させるデザインのラッピングを施した「戦国列車」を運行
- レトラムの運行（福井鉄道福井駅～越前武生駅）  
ドイツで路面電車として運行していた車両「レトラム」の季節運行とバスを組み合わせた観光ツアー等の企画・実施
- 恐竜バスの運行（福井駅東口～恐竜博物館）【恐竜プロジェクトと共通】  
恐竜ラッピングされたバスで専用アテンダントが恐竜博物館や周辺観光地の解説をし、車内で恐竜ARが楽しめる「恐竜バス」を運行（土日祝に片道6便運行）
- ラッピングタクシーの運行（JR福井駅前発着）  
福井の観光地や歴史的人物などをラッピングした観光タクシーを運行
- ユニークな車両の企画運行  
二階建てオープントップ型のロンドンバスや新モビリティ「ふくとく」、かへのラッピングを施した「越前がにバス」など、普段は乗る機会のないユニークな車両をイベント的に運行

- 鉄道と「駅メモ」がコラボしたデジタルスタンプラリーの実施  
福井鉄道とえちぜん鉄道の11駅と各鉄道沿線の観光地9か所において、スマホの位置情報を利用したスタンプラリーを実施し、主要駅においてフィギュアやクリアファイルなどのコラボグッズを販売
- 越美北線ARガイドアプリの導入  
武将キャラクター等が登場するARや、地元有名人等のメッセージ動画など、一乗谷朝倉氏遺跡へ向かう乗客が駅や車内で楽しめるスマホアプリを導入
- すまいるバス×イケボイス化プロジェクト  
福井市内を周遊するすまいるバスにおいて、人気声優による車内放送（録音）を実施
- 観光タクシーの運行  
多彩な観光タクシープランの企画・実施
- 観光型Ma a Sの導入  
新幹線をはじめとする鉄道に加え、現地でのバスなどの交通機関や観光地の入場チケットを含め、出発地から目的地までの全行程について、スマートフォンでシームレスに検索・予約・決済ができる観光型Ma a Sを導入
- ふくいMa a Sの導入  
複数の公共交通やそれ以外のサービスを最適に組み合わせて検索や決済等を一括で行うことができるスマホアプリを導入

##### 【実施計画（案）】

内容	実施主体	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		設計	設計	ラッピング	ラッピング	運行	運行	運行	運行
恐竜列車の運行	えちぜん鉄道	設計	設計	車両改造・ラッピング・試運転	車両改造・ラッピング・試運転	運行	運行	運行	運行
戦国列車の運行	JR西日本	デザイン	デザイン	ラッピング	ラッピング	運行	運行	運行	運行
レトラムの運行	福井鉄道	運行	運行	運行	運行	運行	運行	運行	運行
恐竜バスの運行	京福バス	ARコンテンツの追加	ARコンテンツの追加	運行	運行	運行	運行	運行	運行
ラッピングタクシーの運行	タクシー事業者	内容検討	内容検討	内容検討	内容検討	ラッピング	ラッピング	ラッピング	ラッピング
ユニークな車両の企画運行	交通事業者等	適宜企画運行	適宜企画運行	適宜企画運行	適宜企画運行	適宜企画運行	適宜企画運行	適宜企画運行	適宜企画運行
デジタルスタンプラリーの実施	鉄道事業者等	実施	実施	実施	実施	実施結果を踏まえて今後について検討	実施結果を踏まえて今後について検討	実施	実施
越美北線ARガイドアプリ	県	アプリ製作	アプリ製作	アプリ製作	アプリ製作	ARガイドアプリの供用	ARガイドアプリの供用	ARガイドアプリの供用	ARガイドアプリの供用
すまいるバス×イケボイス化	福井市	内容検討	収録	収録	収録	イケボイスによるすまいるバスの運行	イケボイスによるすまいるバスの運行	イケボイスによるすまいるバスの運行	イケボイスによるすまいるバスの運行
観光タクシーの運行	タクシー事業者	認定制度の検討・タクシープランの企画	認定制度の検討・タクシープランの企画	認定制度の検討・タクシープランの企画	認定制度の検討・タクシープランの企画	観光タクシーの運行	観光タクシーの運行	観光タクシーの運行	観光タクシーの運行
観光型Ma a Sの導入	JR西日本					「tabiwa」の導入	「tabiwa」の導入	「tabiwa」の導入	「tabiwa」の導入
ふくいMa a Sの導入	嶺北11市町等	協議会設立・仕様検討	協議会設立・仕様検討	実証実験	実証実験	アプリ製作	アプリ製作	アプリの供用 機能・サービスの追加	アプリの供用 機能・サービスの追加

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### 10. 二次交通のエンタメ化



II - ⑭ 独自性のある車両、ラッピング車両や車内放送のエンタメ化など鉄道・バスに乗ることを楽しめる車両が運行および計画されている。  
北陸新幹線開業後は駅を起点とした公共交通の移動の増加が想定され、駅と主要観光地を結び、楽しみながら移動できる魅力や利便性ある公共交通の充実が望まれる。

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### ■ II. 嶺北地域の公共交通の現状の要点整理…1/3

#### 1. 交通ネットワーク

II-①鉄道を軸として郊外バス・コミュニティバス等でネットワークが形成され、交通空白地はほぼ無い状況にあるが、鉄道沿線付近以外の郊外部は運行本数が少なく、公共交通の利用頻度は低い。

#### 2. 鉄道の状況

II-②コロナの影響により各鉄道路線とも利用者数が大きく減少し、一部回復の兆しはあるが、引き続き厳しい経営状況が継続している。

II-③住民や利用者からは運行本数の増便や乗換えダイヤの見直し、キャッシュレス化等に対する要望が強い

#### 3. 路線バスの状況

II-④コロナの影響により京福バス、福鉄バスは利用者数が大きく減少し、それに伴う厳しい経営状況が継続している。

II-⑤地域間幹線系統には、一部国庫補助要件を満たさない路線があり、広域バス交通を維持確保するためにも補助要件を満たすための見直し検討等が望まれる。

II-⑥県内バス事業者の深刻な運転手不足が継続しており、人材確保が急務な状況にある。

II-③住民や利用者からは運行本数の増便や乗換えダイヤの見直し、キャッシュレス化等に対する要望が強い

#### 4. タクシーの状況

II-⑦コロナの影響によりタクシー利用者は減少し、運送収入や運転手の確保など、厳しい経営状況が継続しており、少人数の多様な移動を支えるタクシーの将来的なリソース不足が懸念される。

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### ■ II. 嶺北地域の公共交通の現状の要点整理…2/3

#### 5. 各市町のコミュニティバス等

II-⑧ コロナの影響により利用者は減少し運行経費が増加しており、各市町の財政負担の増加、それに伴うサービスレベルの低下、さらなる利用者減が懸念される。

#### 6. 今後の公共交通の利用意向

II-⑨ マイカー利用の意向が高い一方で、将来の公共交通の転換意向が高く、公共交通に乗って残す意識の醸成や公共交通の持続性を高める取組の推進が重要と考えられる。

#### 7. 各市町の利用促進等の状況

II-⑩ 各市町で公共交通事業者や大学等と連携し、利用促進に向けた取組を実施しており、一定効果が確認できた取組の共有、水平展開が重要と考えられる。

## II. 嶺北地域の公共交通の現状

### ■ II. 嶺北地域の公共交通の現状の要点整理…3/3

#### 8. 観光の状況

- II - ⑪ コロナの影響により観光入り込み客数は減少したものの若干回復しており、北陸新幹線開業に伴い、さらなる増加が期待される。
- II - ⑫ 北陸新幹線開業後は駅を起点とした公共交通の移動の増加が想定され、駅と主要観光地を結び、楽しみながら移動できる魅力や利便性ある公共交通の充実が望まれる。

#### 9. 北陸新幹線開業による効果

- II - ⑬ 北陸新幹線の金沢～敦賀間開業に伴い、東京～福井間2時間53分（34分短縮）経済波及効果は約300億円を超え、交流人口が78.5万人増加すると予測されるなど、地域に大きなインパクトをもたらす

#### 10. 二次交通のエンタメ化

- II - ⑭ 独自性のある車両、ラッピング車両や車内放送のエンタメ化など鉄道・バスに乗ることを楽しめる車両が運行及び計画されている。

北陸新幹線開業後は駅を起点とした公共交通の移動の増加が想定され、駅と主要観光地を結び、楽しみながら移動できる魅力や利便性ある公共交通の充実が望まれる。